

DEW  
stream 2014

---

Planning, Design, and Consulting  
SHIMIZU CORPORATION

vol.74

YASUDA WOMEN'S UNIVERSITY NEW BUILDING No.5	02 - 05
NURIHIKO BUILDING SOUTH	06 - 09
OASE SHIBAURA	10 - 13
KARIMOKU FURNITURE HEADQUARTERS	14 - 15
EBARA CORPORATION SODEGAURA OFFICE	16 - 17
KATSUYAMA KIKAI LTD. HEAD OFFICE	18 - 19
YOKOHAMA I-MARK PLACE	20 - 21
OSAKI WIZ CITY	22 - 23
YUKO ELECTRIC CO.,LTD. HEADQUARTER OFFICE	24
MITSUBISHI TANABE PHARMA KASHIMA OFFICE BUILDING	25
NAGASE GLOBAL HRD CENTER	26 - 27
KONIGAMINOLTA PARK-ATHLETES	28 - 29
KEIO UNIVERSITY FACULTY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY YAGAMI CAMPUS	30
SAGA WOMEN SENIOR HIGH SCHOOL	31
HOKKAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY "HIT ARENA"	32 - 33
WELLITH ARISUGAWA	34 - 35
PARK TOWER SHINONOME	36 - 37
ANNIVERSAIRE MINATOMIRAI YOKOHAMA	38 - 39
HOKKOKU PARK BUILDING	40 - 41
Elem IWAKI	42
ODAKYU SOBUDAI BUILDING	43
MUSASHIICHINOMIYA-HIKAWA-Shrine KITOUDEN・FUDASHO	44 - 45
SHARELIEF NISHIFUNABASHI GRACENOTE	46
THE IMAMURA SECURITIES CO., LTD. CONFERENCE ROOM	47
MNC MEDIA TOWER PROJECT	48
268 ORCHARD ROAD	49
OTA CITY PUBLIC HEALTH CENTER	50
KOWA HAMAMATSU FACTORY SITE-5	51
JUNTENDO HOSPITAL BUILDING B	52
ENVIRONMENT AND EQUIPMENT SIMULATION	53
COMPETITION	54 - 55
stream DEW WORKS・stream DEW MEMBER	56 - 57
DATA OF WORKS	58 - 60

Planning, Design, and Consulting  
by SHIMIZU CORPORATION + Field Four Design Office + PD SYSTEM

# DEW

stream 2014

特集：近作プロジェクト

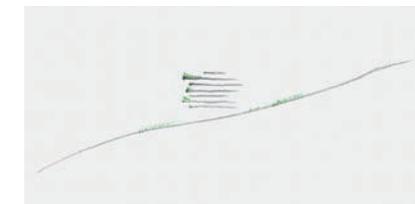
vol. 74

安田女子大学新5号館	02 - 05
ぬ利彦ビル南館	06 - 09
オアーゼ芝浦	10 - 13
カリモク家具 本社ビル	14 - 15
荏原製作所袖ヶ浦事業所 事務・厚生棟	16 - 17
カツヤマキカイ 本社棟	18 - 19
横浜アイマークプレイス	20 - 21
大崎ウイズシティ	22 - 23
友見電気本社ビル	24
田辺三菱製薬 加島オフィス棟	25
ナガセグローバル人材開発センター	26 - 27
コニカミノルタ パークアスリーツ	28 - 29
慶應義塾大学(矢上)理工学部教育研究棟(34棟)	30
佐賀女子高等学校	31
北海道工業大学"HIT ARENA"	32 - 33
ウエリス有栖川	34 - 35
パークタワー東雲	36 - 37
アニヴェルセルみなとみらい横浜	38 - 39
北國パークビル	40 - 41
いわき市体験型経済教育施設一Elem	42
小田急相武台ビル	43
武蔵一宮氷川神社 祈禱殿・札所	44 - 45
シェアリーフ西船橋グレイスノート	46
今村証券 カンファレンスルーム改修	47
MNCメディアタワープロジェクト	48
268 ORCHARD ROAD	49
太田市保健センター	50
興和浜松工場 軟膏液剤棟 サイト5	51
順天堂医院B棟高層棟	52
環境・設備シミュレーション	53
コンペティション	54 - 55
stream DEWの活動・stream DEW 委員一覧	56 - 57
作品データ・組織表	58 - 60



**YASUDA WOMEN'S UNIVERSITY NEW BUILDING No.5**  
安田女子大学新5号館

未来・キャンパス・ひとつをつなぐ緑の丘



新設される看護学部の教室や実習室を中心に、保育科の音楽系実習室やピアノレッスン室、ダンススタジオ、全学共用の大教室、食堂などを複合させた6階建ての大学校舎の計画である。

「つながり」をキーワードに、将来にわたってさまざまな機能に柔軟に対応できる校舎づくり、高低差のあるキャンパスでの学生の移動円滑化、そして楽しい多様な学生の居場所づくりに取り組んだ。

ひとたび出来上がれば30年、50年と使用されるのが建築。

単にそのときどきの要求を満足するだけでなく、未来にわたって新たな要望に応えられるデザイン。一つの建物ができることによって周囲の建物の価値を引出し、高めるデザイン。

使う人が楽しく過ごすことが出来て、ひとつひとつが出会い、つながる仕掛けとなるデザイン。

これが今回取組んだ「つながり」のデザインである。

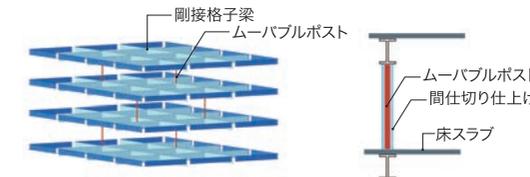
2014 グッドデザイン賞



根岸 健一

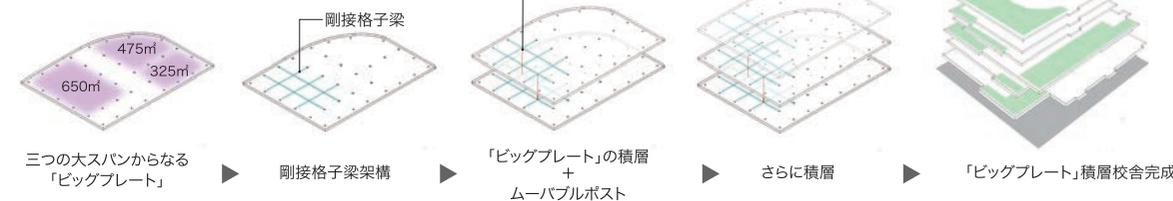
未来につながるフレキシブル平面「ビッグプレート」

剛接格子梁架構とムーバブルポストによる最大650㎡の無柱大スパン平面＝「ビッグプレート」。これを積層させることで大小さまざまな空間をフレキシブルにレイアウトできる。ビッグプレートは大面積化している看護学部の教室・実習室と保育科の小部屋のレイアウトに柔軟に対応するために生まれた。大スパン平面で懸念される床振動問題に対しては、剛接格子梁架構による大きなプレートどうしを「ムーバブルポスト」と呼ぶ床振動抑制用間柱でつなぐことで解決している。「ビッグプレート積層校舎」は今後も起こるであろう教育システムの変化に対応できる学校建築の新たなモデルである。



剛接格子梁架構＋ムーバブルポスト

「ビッグプレート」積層校舎のつくりかた

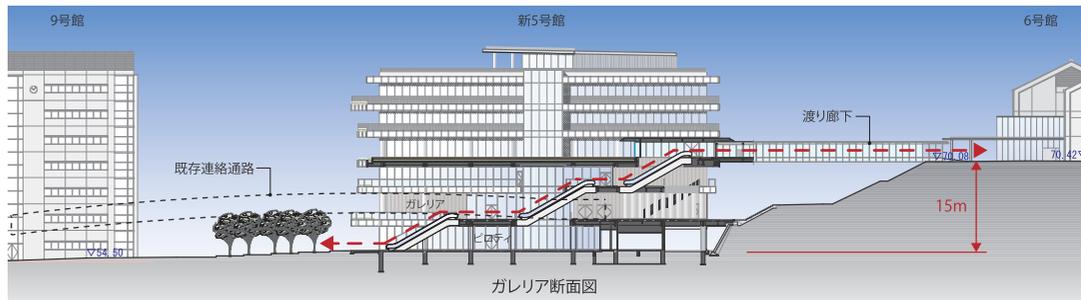




### 高低差のあるキャンパスをつなぐ「キャンパス・ガレリア」

エスカレーターでステップアップしながら敷地の高低差を解消するとともに、既存校舎間を接続し、キャンパスのつながりを生み出す。

エスカレーターの輸送能力の高さを活かして、高低差のあるキャンパス内での学生の移動円滑化を図るとともに、並走する既存の連絡通路や既存の食堂棟「まほろば館」とも接続することにより、既存校舎間の移動の円滑化も実現した。キャンパス・ガレリアにより、雨の日でも傘なしにすべての校舎間を移動できる動線が完成し、まさにキャンパスが一つにつながった。



吹抜ホール



### ひとつつながる楽しい居場所「ベチャクチャ commons」

吹抜ホールやいろいろな席を設けた食堂などの屋内空間に加え、屋上テラスや各階のバルコニーテラスなど、屋内外にわたって楽しい多様な学生の居場所を展開した。

使う人が楽しく過ごすことが出来て、ひとつが出会い、ひとつがつながる仕掛け、それが「ベチャクチャ commons」。

食堂ではランチボックスに陣取った学生がちょっと優越感を感じながらご機嫌でおしゃべりを楽しんだり、ソファ席でだらっとしてみたり。ソファを設置したトイレやロッカー室はおしゃべりを楽しむための空間としての設え。ついつい長居してしまう、ちょっと居心地のよい空間が建物のいろいろなところにちりばめられている。



学生のアクティビティが学校の風景をつくるピクチャーフレーム



吹抜ホール



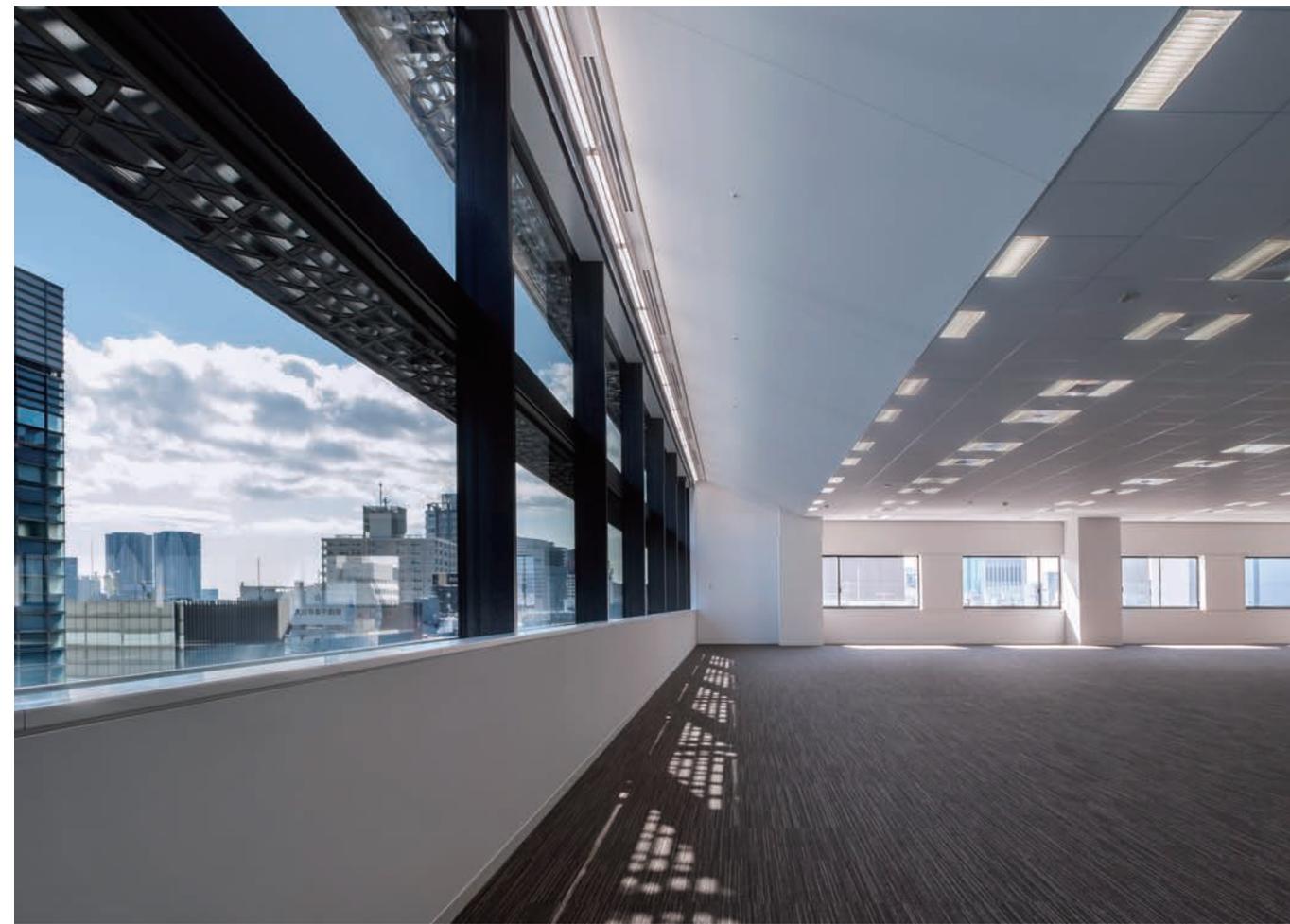
パウダーコーナー(トイレ)



充実のアメニティ空間/ロッカー室



4Fスカイテラス



## NURIHIKO BUILDING SOUTH

ぬ利彦ビル南館

変わらない価値の建築をめざして



中澤酒店(ぬ利彦)倉庫  
関東大震災時(1923年)



第一・第二ぬ利彦ビル  
竣工時(1962年)

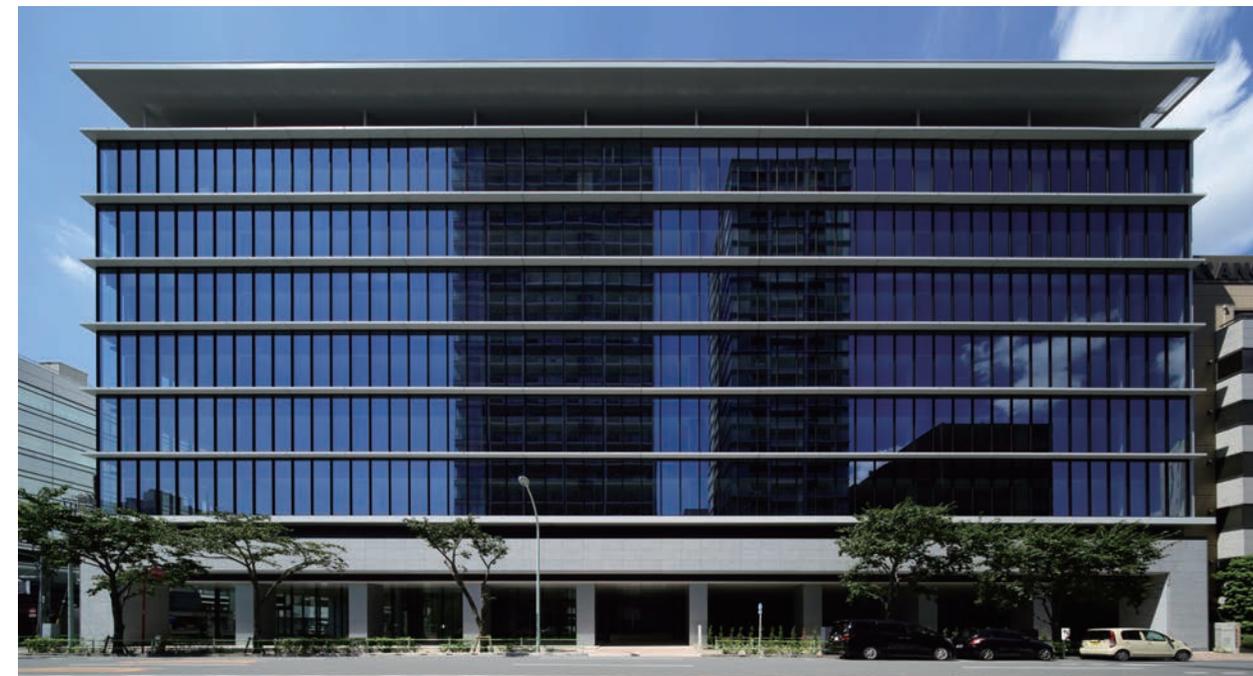
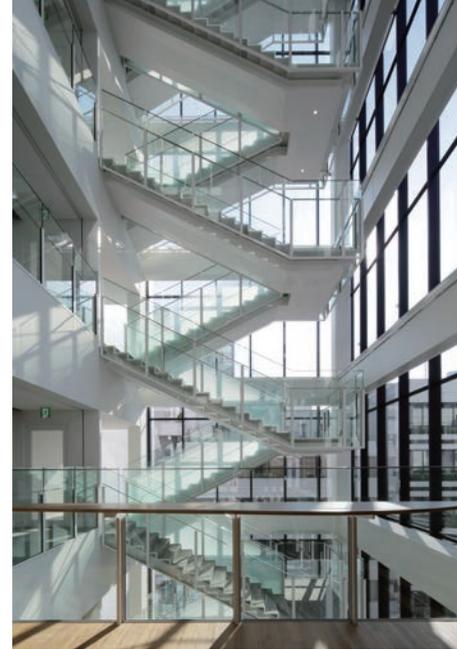
創業1717年、江戸京橋の老舗卸問屋「ぬ利彦」が所有するテナントオフィスビルの建替計画。創業の地に建つビルとして300年の伝統に応えるべく、「変わらない価値の建築」をコンセプトとし、時代に左右されないミニマルさと、代々受け継がれている企業のアイデンティティをデザインに取り入れた。

東日本大震災後の計画として、関東大震災時にはRC造のぬ利彦倉庫(清水組施工)が耐えた経験も踏まえ、ミッドサイズのテナントオフィスでありながらも免震構造を採用し、BCP・環境対策を重視した。これらコスト増に対しては、地区計画の高さ緩和を利用した中間階免震による地下解体の削減、21.8m単スパン架構による柱本数の工夫、2回転階段などのミニマムな平面計画による高レンタル比(78.8%)の実現など、合理的なトータルデザインソリューションによりコスト削減と不動産価値向上を両立させた。また、これらの合理的工夫や特徴を活かした光豊かな空間により、オーナービルとして性能だけでは表せない価値を創出した。

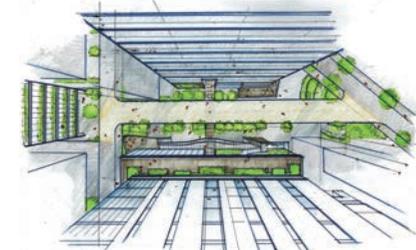


牧住 敏幸





**OASE SHIBURA**  
オアゼ芝浦 (MJビル・NEXUS・RESIDENCE)  
都市のオアシス



芝浦2丁目に建つ3棟の同時建替え計画。かつてこの地は、世界に冠たるブランドをもつ飲料メーカーが、日本進出の第一歩として拠点を構えた場所であった。

この地に3棟建てる意義を追求し、「機能と潤いが共存する複合施設」をコンセプトにした“都市のオアシス”を実現した。

「潤い」として、3棟のエントランスにはオアシスを表現した木・緑・水のモチーフを展開。また、吹抜に隣接するリフレッシュスペースなど、憩える場所を充実させた。

「機能」として、3敷地で電力・熱を融通することで、低炭素まちづくりのスマートコミュニティを計画。また、港区の防災備蓄倉庫や緊急避難テラス、一時滞在スペース等を設けて地域の防災機能の向上を実現した。



内藤 純

中通りを中心とした地域の交流空間の形成

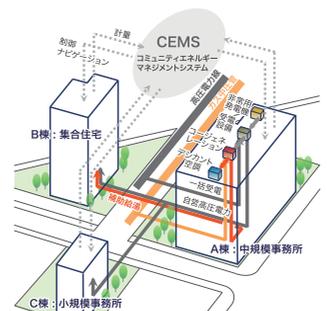
芝浦生まれの企業として、地域コミュニティを育み親しみのある「まち」景観をつくることを目指した。「緑の軸」と位置付けた中通りと、中通りに直行して設けた「水の軸」を中心に、建物の内と外、三敷地の連続感・一体感を演出した。「水の軸」はA棟とB棟のエントランスホールを貫くように計画し、三棟に設けた壁面緑化を中心に緑豊かなオープンスペースを形成。緑豊かな空間とすることで、一棟ではもちなないオープンスペースを生み出した。その軸に向けて、店舗前面にデッキをすることで、街と繋がりが、人々のコミュニティを促す空間を演出した。

河村 貢 國嶋 匡



既存街区間でスマートコミュニティを実現

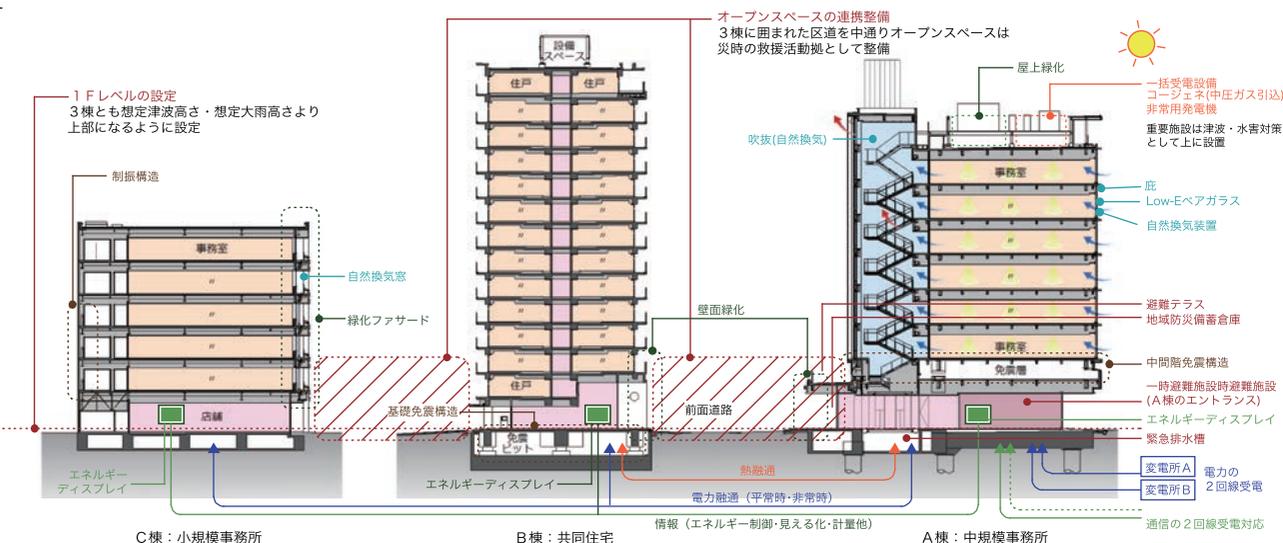
国、東京都、港区が推進する高度な環境・防災性能を備えた開発計画を提案。住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業認定(国土交通省)、電気事業法の特定供給許可(経済産業省)、道路法の占用許可(港区)を得て、既存市街地において国内初となる、3棟間での電力・熱を面的に有効利用するスマートコミュニティを実現。平常時の節電・省エネ及び非常時の電力供給を図るために、公道下に自営のライフラインを敷設して3棟一体の電力・熱融通を行う。非常時には3敷地全体が地域防災の拠点として機能するように各種の対策を施している。



電力・熱の面的利用のイメージ



A棟屋上にスマートコミュニティの設備機器を集約



芝浦の歴史と記憶を継承

本館に使われていた素材を、新たな建物に再利用する。長い間、芝浦の地と共に歩み街を形成してきた素材は、街にとって馴染みのある貴重な財産であると考えた。再利用の方法としては、可能な限り元の素材の形状・雰囲気を活かす方法を選択した。それぞれの素材がもう一度輝きをもつよう、適材適所のデザインを行った。



旧コカ・コーラ本社ビルのエントランス



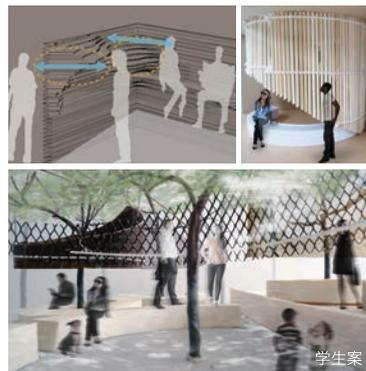
ELVホール

役員フロア

産学協働によるスモーカーキングスペース

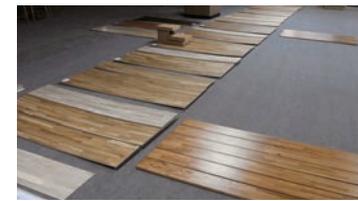
早稲田大学古谷研究室とのコラボレーションにより、1階・外構・基準階のスモーカーキングスペースを計画。たばこを吸う人にとっても吸わない人にとっても快適で双方が共存できる環境の実現を目指した。12組の案の中から、2案を選定し、基準階と1階のスモーカーキングスペースに採用した。

大旗 祐



学生案

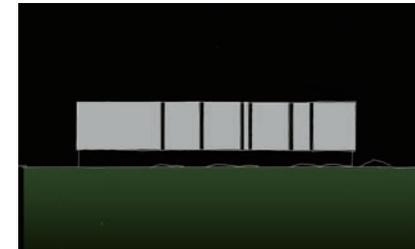




## KARIMOKU FURNITURE HEADQUARTERS

カリモク家具 本社ビル

家具のプロ・建築のプロが協働したものづくりの試み



自然の中で育まれた天然木と人間工学を融合した家具を製造・販売するカリモク家具の本社ビル。

天然木に囲まれた空間が木製家具の開発をする場として最適であると考えた。家具のプロである施主と協働して、木製ルーバー・木製建具・階段踏板等のデザインを決め、木の温もりを感じられる空間をつくり上げた。

執務室は間仕切を設けず将来のレイアウト変更に対応。トップライトを備えた打合コーナーとは吹抜を介して一体的な空間とした。

開放的な打合コーナーからは、なだらかな起伏のある緑豊かな中庭が望め、社員や来訪者がリフレッシュできる潤いのある空間としている。

西日を抑制するため開口部は木製ルーバー間の縦のスリット窓と、高さを抑えた水平窓に限定。リズム良く配置されたスリット窓により壁面が軽快に地面から浮いているように見えている。

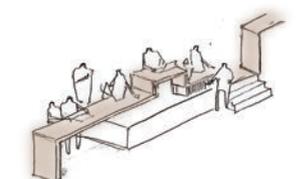
第27回 中部ニューオフィス推進賞  
第7回 NISCイノベーションデザインコンテスト優秀賞



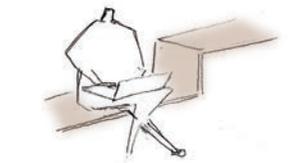
熊谷 澄雄



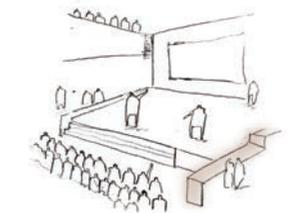
知識を交換し、創造をつなげる



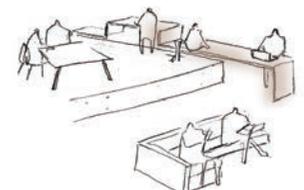
テーブルとなったり、イスとなったり



リフレッシュできる



舞台と観客のような関係性



選べるスペース

**EBARA CORPORATION**  
**SODEGAURA OFFICE**

荻原製作所袖ヶ浦事業所 事務・厚生棟

知識のMORI



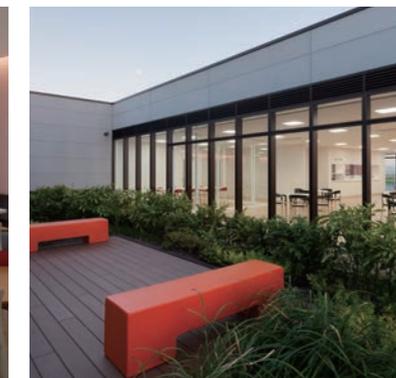
千葉県袖ヶ浦市に計画された世界各地で使用されるコンプレッサー、蒸気タービンを製造販売する専門メーカーの事務・厚生棟である。100周年のメモリアルプロジェクトとして計画された建物は、袖ヶ浦事業所の顔として白を基調とした外壁と外部空間を取り込む開放的なガラス面により来客者を迎える端正な佇まいをしている。

2, 3階の事務室を一体とする吹抜空間は、自席に籠りがちな技術者に対して人と出会う機会を増やすコミュニケーションの場を提供する。吹抜上部のランダムなトップライトにより、柔らかな光が取り込まれ、創造性を刺激しあう空間を演出した。

各エリアにカラーコンセプトを設け、事務室は緑を基調とした『知識のMORI』、ラウンジは青を基調とした『癒しのIZUMI』、会議室は情熱的な赤、食堂は様々な色を取り込んだ交流の場とし、印象深い空間を実現することが出来た。

山田 航司





**KATSUYAMA KIKAI LTD. HEAD OFFICE**  
カツヤマキカイ 本社棟

中庭を持つ環境重視型オフィス



分散している工場と本社機能を集約し、交通機関の結節点である空港島に新たな拠点をつくる計画である。その中の本社機能を担う環境重視型オフィスの提案。

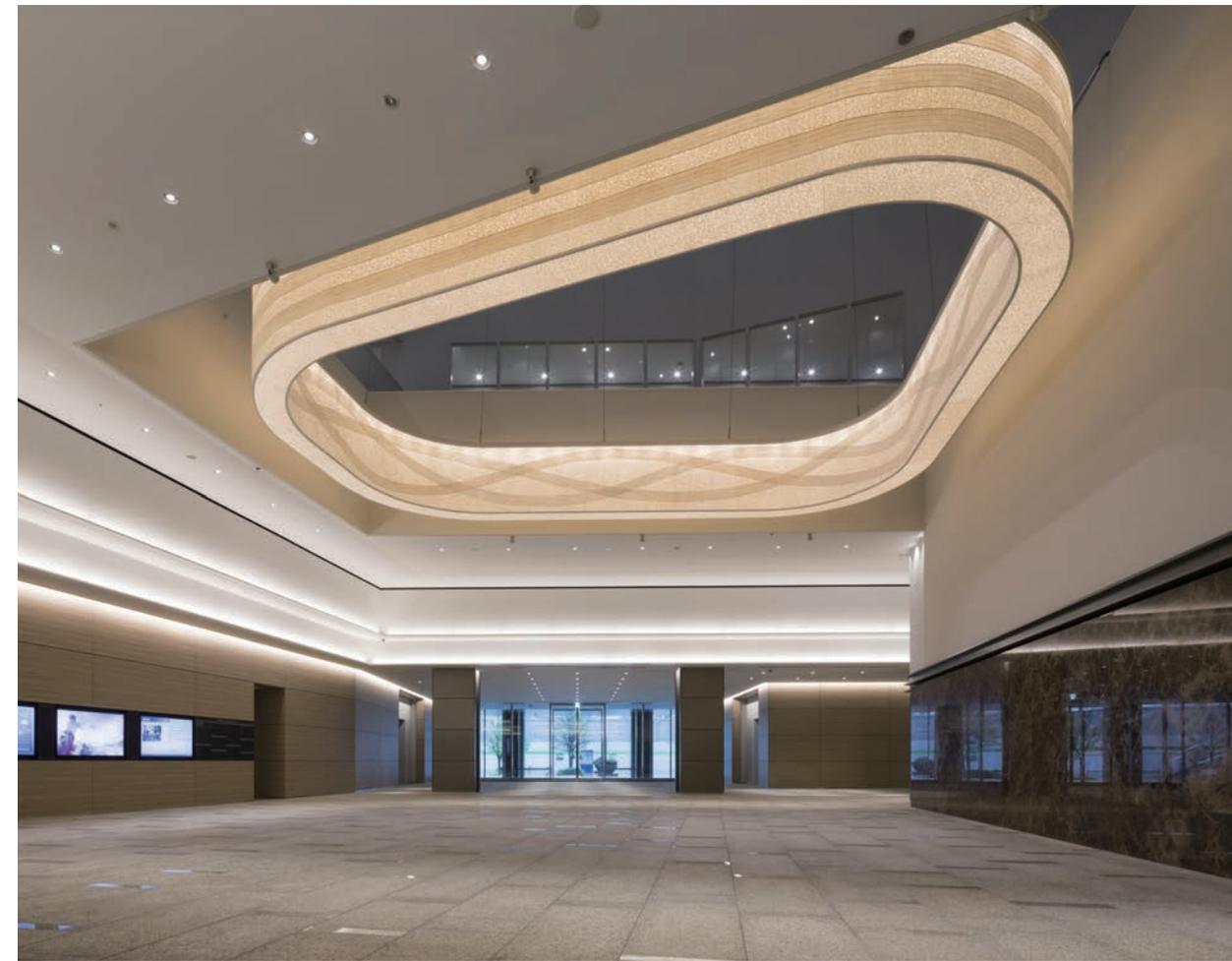
埋立地という自然が少ない環境から、2階に中庭と居室を交互に配置することで、どこにいても緑を感じられる計画とした。

中庭を介し各室がゆるやかにつながっている事で、採光や通風を確保できる。また、外部及び各室が適度な距離感を保ちながら刺激し合う事で、コミュニケーションの誘発を促している。

外装は既存工場のレンガ壁のイメージを継承したタイルを使用した。これは港街神戸懐旧の風景にも通じるものである。



田口 美沙



## YOKOHAMA i-MARK PLACE

横浜アイマークプレイス

まちにひらかれたクリエイティブワークプレイス



職・住・商の集積が進み、生き活きたくらしのあるまち「みなとみらい21」。その目抜き通り、グランモール公園に面したテナントオフィスの計画である。

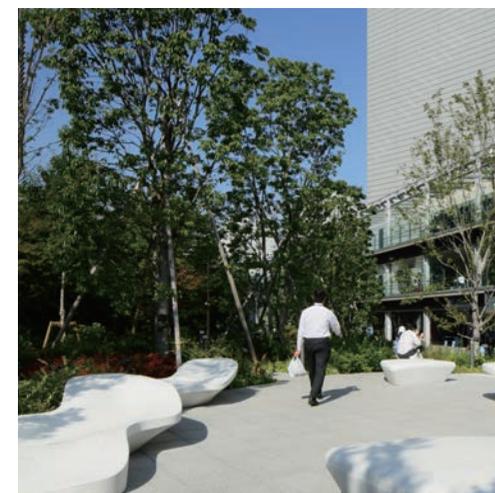
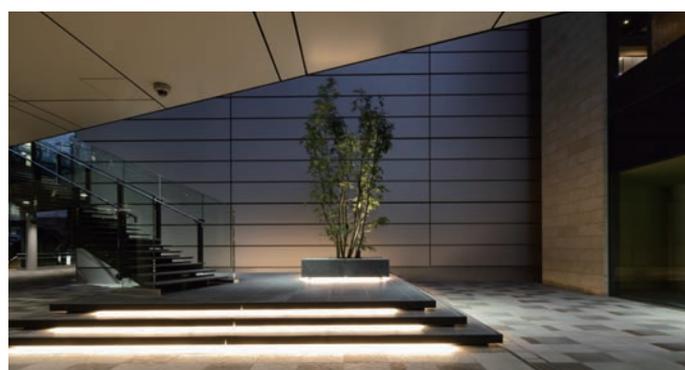
オフィスワーカーの知的生産性を高めるため、ecoBCPに対応させると共に、まちを感じられる開放的なワークプレイスとして計画した。

1階を誰もが通り抜けることができる「まちの道」として開放し、その中央にある吹抜「エコポイド」が光と風の通り道として、まちと上層のオフィスを緩やかにつないでいる。

堀木エリ子氏作の和紙アートが温かな光をたたえるエントランスホールは、オフィスワーカー、近隣住民をはじめとした、この場を通り抜ける多くの人々の和みの空間（プレイス）となっている。



猪股 悠



**OSAKI WIZ CITY**  
大崎ウイズシティ

寄り添って立つ



共に暮らし、働き、生きる街「WizCity」と名付けられた大崎駅西口南地区の再開発事業。不整形な歪んだ三角形の敷地中央に業務と住宅のツインタワーを近接させ、寄り添うように建てる。背中合わせで立ち周囲に開く。ボリュームを分節し、群立するタワーの都市景観を形成する。高密に建つタワー周囲にまとまった空地が生まれ、周辺環境とつながる広場を配置する。緑の広場を介して多くの人がつながり、楽しみ、憩う環境をつくった。ツインタワーを載せる基壇は、商業、福祉施設が入り、透けるPC壁で構成される。積層するコンクリートピースによる有孔壁は、外からは壁のように閉じ、内からは程よい開口により採光と眺望を確保している。

小さなもの、多様なものの集まりが大崎という街に豊かさとし新しい技術、産業を生んできた。そうした街の記憶をつなぐ手法として小さなピースが集まり、建物がつくれる様が見えるよう、素材、ディテールを構成した。

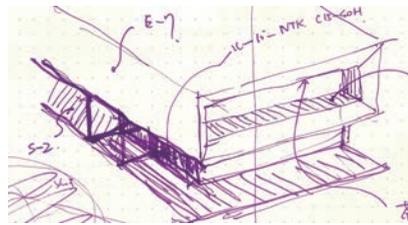


梶谷 正和 松島 研

**YUKO ELECTRIC CO.,LTD.  
HEADQUARTER OFFICE**

友晃電気本社ビル

浮遊するハコ



郊外都市の中心部に位置する低層オフィスの計画である。各地に分散したオフィスを1棟に統合すると共に、「街並みへの調和」と「企業の顔としての固有性」を両立させることが求められ、これらへの解として、「浮遊するハコ」を提案した。

浮遊するハコ前面の奥行3.5mのバルコニーは西日が直接内部へ入るのを防ぎ、柔らかな光を執務空間に届けている。

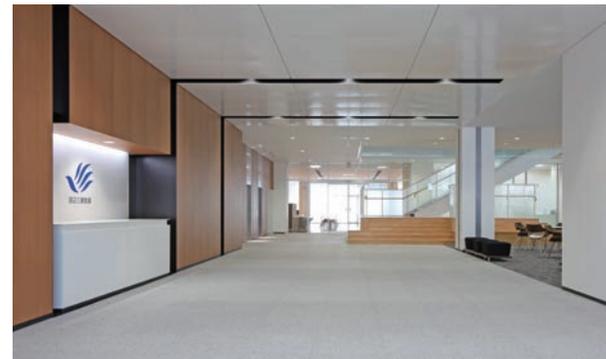
建物をセットバックし設けた豊かな緑とハコ下のテラスは街並みに彩りを与えると同時に、快適な執務空間を実現している。

形態や色彩を極限まで簡素化した“浮遊するハコ”は地域経済の中核を担う企業の新しい本社ビルとして、静かに、力強い“たずまい”を見せている。

柳 義明



24  
vol.74

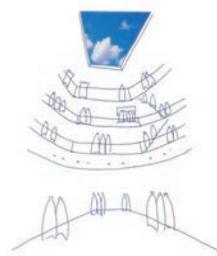


25  
vol.74

**MITSUBISHI TANABE PHARMA  
KASHIMA OFFICE BUILDING**

田辺三菱製薬 加島オフィス棟

夢舞う大空を取り込む



製薬会社の研究所・工場におけるオフィス棟である。社員だけでなく、来客やベンダー、見学者も交えた様々な出会い・コミュニケーションを誘発する仕掛けを模索した。

建物の中心にポイド＝吹抜を据え、取り囲むようにオフィスを配置した。トプライトから降り注ぐ光を大空に見立て、ポイドを取り囲むオフィスで働く社員の夢を育む空間となるよう、ポイドを貫く階段を中心として様々な出会いの場を創出した。階段の基壇は大きなベンチシートに見立て、来館者や社員同士の待ち合わせの場とした。ポイドに面したオープンパントリーは、自然の光と風を感じながらアイデアを深めるレストスポットとして利用されている。

迫 淳海



稲毛 誠





**NAGASE GLOBAL HRD CENTER**  
ナガセグローバル人材開発センター

いつものオフィスが“タテイト”ならば研修施設は“ヨコイト”としてのコミュニケーションオフィス



施主のニーズを1から考えるのではなく、一度既存概念を捨てて“0”から考える事で何が本質なのかを考える事が本プロジェクトの進め方であった。

企業の研修施設が集合住宅や寮、ホテルと大きく異なるのは、滞在する人の時間の過ごし方にある。昼の研修後、夕食を終えた後も議論を重ね、ときに研修グループの同僚と宿泊室で遅くまで話し込む事もある。その本質から目を離さず、施設全体が活気に満ちる計画を行った。

例えば、宿泊室の扉を格子扉と遮音扉のコンビネーションにする事で、プライベートとパブリックをほどよくコントロールし、廊下にも自然光や風を通し、夜は光が漏れ、人の気配を相互に感じる事が出来る空間とした。そこでは自然に仲間と出会い、会話が生まれ、企業の絆と希望を育む空間となることを意図している。

2014 グッドデザイン賞



西野 安香

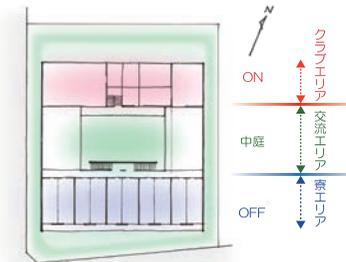




## KONICAMINOLTA PARK-ATHLETES

コニカミノルタ パークアスリート

世界で活躍する陸上選手の輩出を目指して



実業団駅伝の強豪チームとして知られるコニカミノルタ陸上競技部選手寮の計画である。

企業スポーツとしての陸上競技部は、強豪チームの宿命として常に大会での結果を求められる厳しい世界に置かれている。選手寮として、最大限の成果を発揮するための機能と、近隣との共存、この二つを建築の形として両立させることに取り組んだ。厳しい鍛練を日々送る選手には休息も大切な時間となるため、「ON」と「OFF」の切り替えが明確なプランとした。

中庭を中心に建物を配置し、「ON」となるトレーニングに係わる主開口は中庭に集約し、「OFF」としての寮室の開口は南面に設けた。寮室以外の主開口は出来る限り建物外周から無くすことで、選手は周囲を気にせず存分にトレーニングに励めるとともに、選手、近隣双方のプライバシーの配慮とした。「いざ世界へ！」がチームのスローガンである。

近い将来、ここから世界の舞台上で活躍する選手が輩出されることを確信している。



田淵 英二

**KEIO UNIVERSITY  
FACULTY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY  
YAGAMI CAMPUS**

慶應義塾大学(矢上)理工学部 教育研究棟(34棟)

集中と交流の空間を併せ持つ新たな実験棟



本計画は、慶應義塾創立150年記念事業の一環として、理工学部創立75年記念に向け、実験実習・研究活動の基礎教育研究の場として計画された。

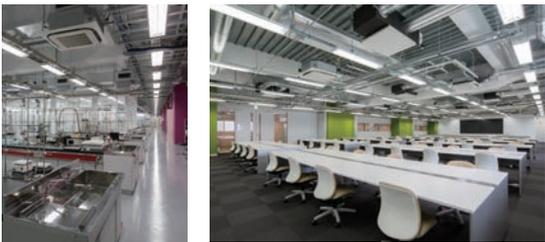
最大幅約85m×奥行約15m、面積約1,275㎡の無柱大空間で構成された研究実験室は、モジュール化によりフレキシブルな間仕切りが可能なシステムとし、研究実験における機能性向上を図った。

北側を実験実習室、南を研究個室とした中央の廊下・階段部は、トップライトによる自然採光・通風を確保し、明るく開放的な4層吹抜け空間とした。この吹抜け空間について、3Dと現寸での検討を幾度となく反復しながら、イメージカラーとサインによるアクセントを設ける計画を行った。モノトーンを基調とした色彩の中にビビットな要素が浮き上がり、研究者・学生間のコミュニケーションの活性化に寄与することを図った、交流・活動のための空間づくりを行った。

第7回 NISC インバンドデザインコンテスト部門賞  
第48回 SDA賞入選



佐野 祐子

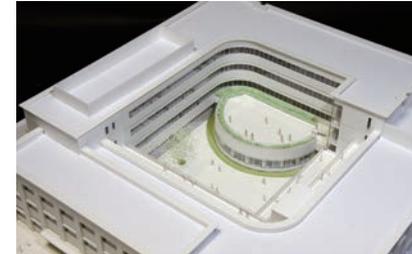


吹抜部断面イメージ



**SAGA WOMEN SENIOR HIGH SCHOOL  
佐賀女子高等学校**

学科間の交流を促す回遊性校舎



既存校舎の老朽化に伴い、住宅地に位置する佐賀球場跡地に高校を移転する計画。計画地付近には系列の短期大学や幼稚園があり、今回計画により系列の学園全体が集まる形となった。

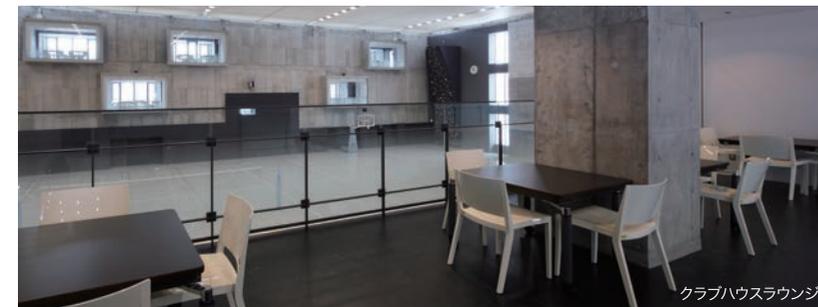
既存校舎は棟が分かれていたため、学科間相互の交流があまりない状況だった。今回計画では、様々な学科(5学科11コース)が交流し、コミュニケーションが誘発されるよう平面計画を口の字型とした。

中庭を中心とし、口の字型に各専門教室を配置、行き止まりのない回遊できるゾーニングを行なった。廊下の各所には各学科の特色を表現したラウンジ等を配置することで、異なる学科の学生同士が情報を発信し合えるような空間を形成した。

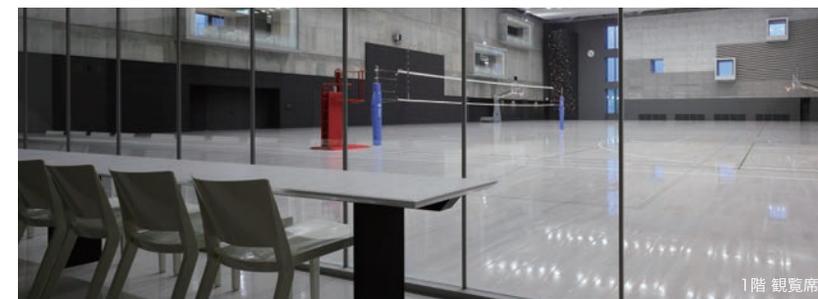
1階には多目的ホールやカフェラウンジを配置し、地域・社会に開放された校舎を目指した。



伊藤 和陽



クラブハウ斯拉ウンジ



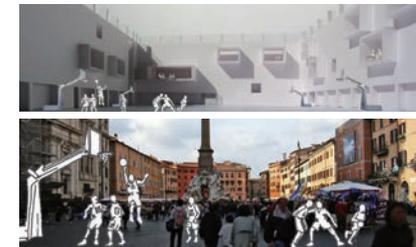
1階 観覧席



エントランスホール

## HOKKAIDO INST. OF TECNOLOGY "HIT ARENA" 北海道工業大学体育館 "HIT ARENA"

北国のキャンパスの WINTER GARDEN

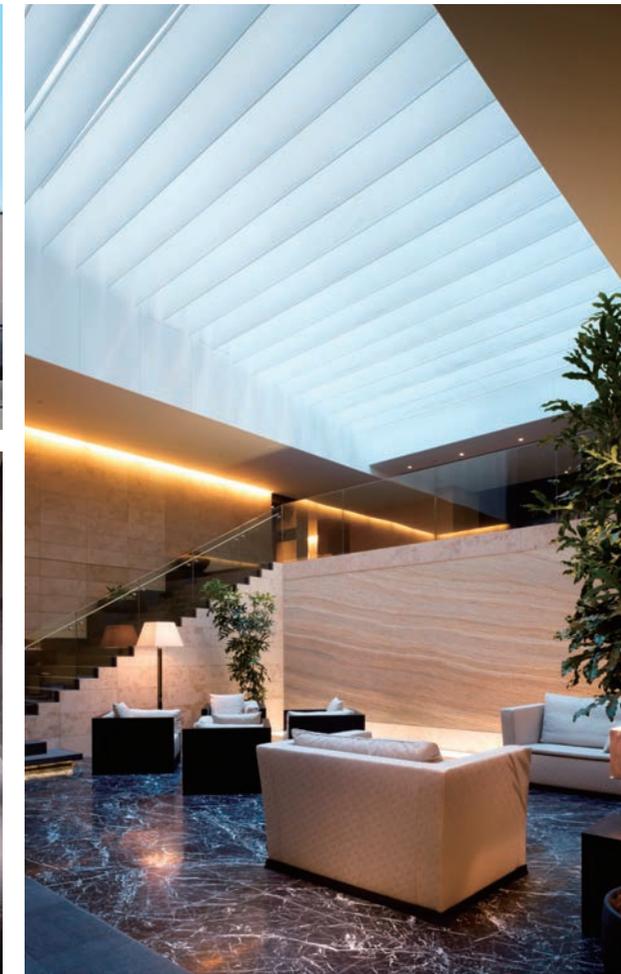


イタリアの都市広場を空間構成のコンセプトとしている。広場に面した窓やベランダで祭り等を眺めるように、学生達はメインアリーナを囲むクラブハウ斯拉ウンジから体育館でのプレイを眺める。  
基本設計は佐藤孝教授(北海道工業大学)と大学OBの設計事務所。当社は実施設計と監理を担当。基本設計のコンセプトを踏襲しつつ機能性とデザイン性の作り込みを行った。  
アリーナ壁面デザインは技術研究所にて吸音のシミュレーションを行い、木毛板・シナ合板・木製ルーバーなどの多彩な材料をバランスよく配置したデザインとなっている。外壁の垂直太陽光パネルは雪の反射光をねらい配列することで機能性とデザイン性を兼ねたファサードデザインとした。また、アリーナハイサイドライトからのナイトパージや自然換気、地中熱床暖房等のシミュレーションを行い、快適性の向上を図った。

2013 日本建築学会北海道支部北海道建築賞  
2014 日本建築学会作品選奨



鈴木 淳



## WELLITH ARISUGAWA ウェリス有栖川

有栖川への応えをかたちに



「有栖川」は地名ではない。しかし、このアドレスを求めて住まう人がいる。希少性の高いこの敷地に、高級分譲マンションを「低層+免震」で計画した。

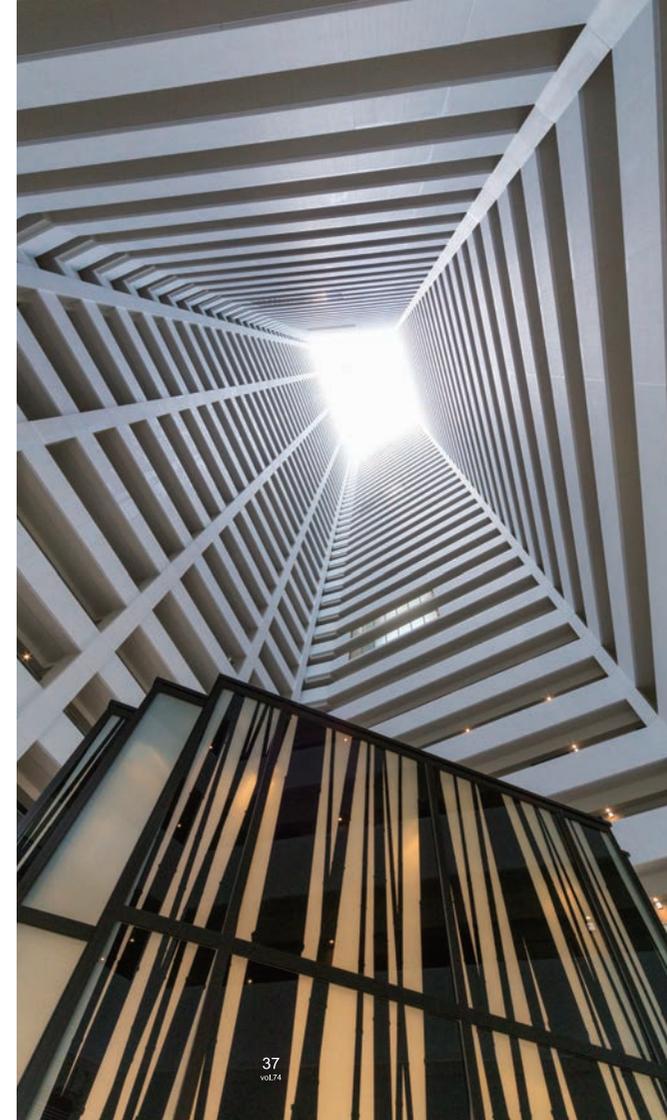
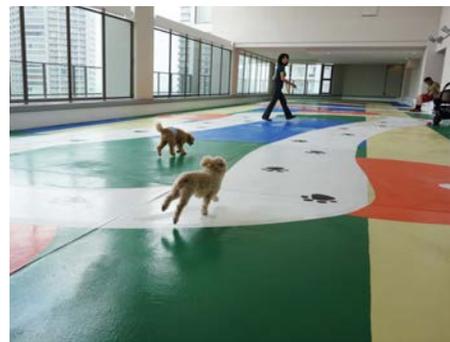
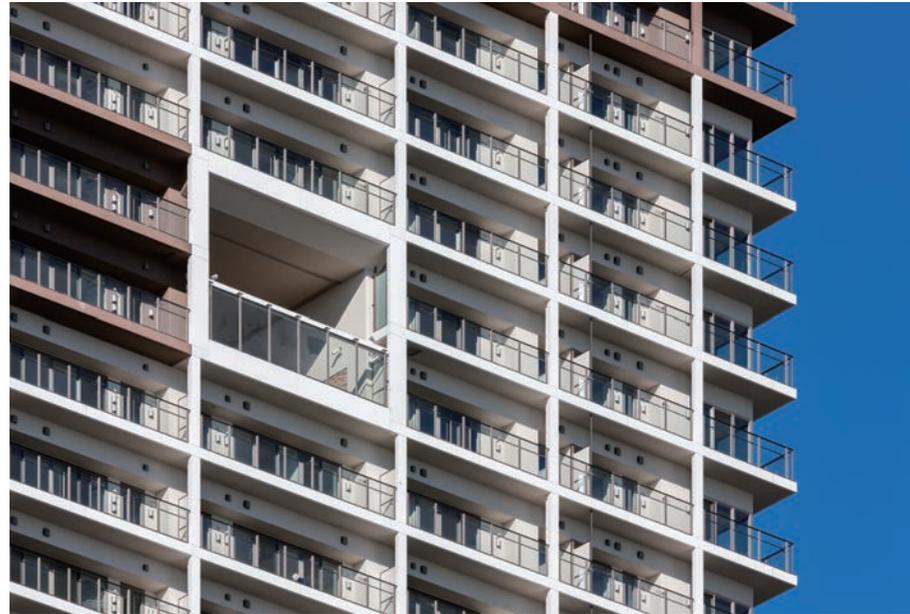
高いグレードに相応しいゆとりのある間取り、高いプライバシー性、セキュリティ性を要求した結果、「堅牢感」を強く意識した「閉じながら開く」開口デザインと分散コアプランに帰結。地域との関係にも配慮して、寡黙に存在感を表す建築に至った。

共用空間は元の地形のレベル差を踏襲した吹抜に、公園やかつての屋敷庭に在った土・水・石・光を展開。内部でありながら外部の自然を引き継ぐ場とした。

一方で災害が発生した場合に生活機能を維持するための技術(LCP)を採用。日常ではパーティに用いる優雅な共用室が、災害時には減災対応拠点になることを想定している。免震構造の採用は地震被害を抑えるだけでなく、外周梁の扁平化や鉄骨梁の併用などフレームデザインに寄与。高い天井高さや開口高さを確保し、より質の高い住戸の実現に一役かっている。



大西 宏明



## PARK TOWER SHINONOME

パークタワー東雲

災害対策拠点となるコミュニティづくり



タワーマンションでは、エントランスまわりと、眺望の良い高層部に共用部がまとめられることが一般的である。本計画では、建物の各所に共用部を分散して、防災対策拠点にもなる、新しいコミュニティづくりを目指した。

建物中央のエコポイドと外部とをつなぐ横穴を、東西の外壁6フロアごとに挿入し、ポイド内に自然光を取り込む。また、ドラフト現象により上昇気流を発生させ風を生み、開放的で風通しの良いポイドを実現した。

光と風を呼び込むこの横穴空間を、住人同士が集うコミュニティ空間「ソラプラザ」とした。空へ眺望が広がるソラプラザは、公園のような社交場、辻、街角となる。全住戸から3層程度の階段移動でアプローチでき、いつものコミュニティの広場が、災害時には対策拠点となり、住人同士の連携がより減災効果を発揮することを願っている。

2014 グッドデザイン賞



原田 洋



## ANNIVERSAIRE MINATOMIRAI YOKOHAMA

アニヴェルセルみなとみらい横浜

「横浜フレンチモダン」記念日の館



横浜みなとみらいに建つ邸宅型ブライダル施設。事業コンセプトは「幸せは、祝福されると記念日になる」であり会社の屋号アニヴェルセルは「記念日」の意。

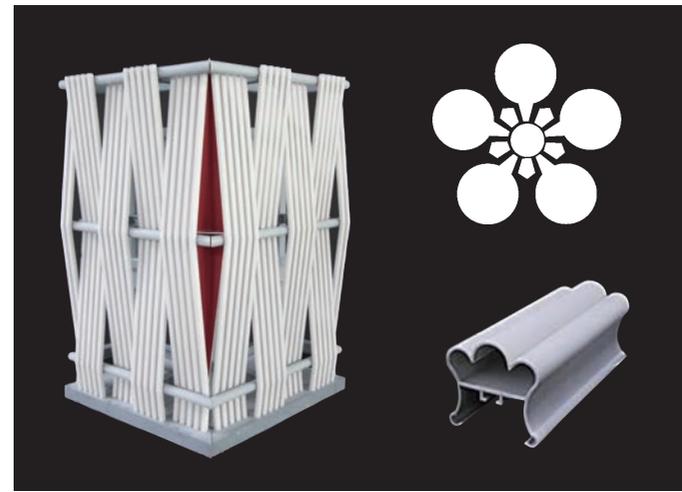
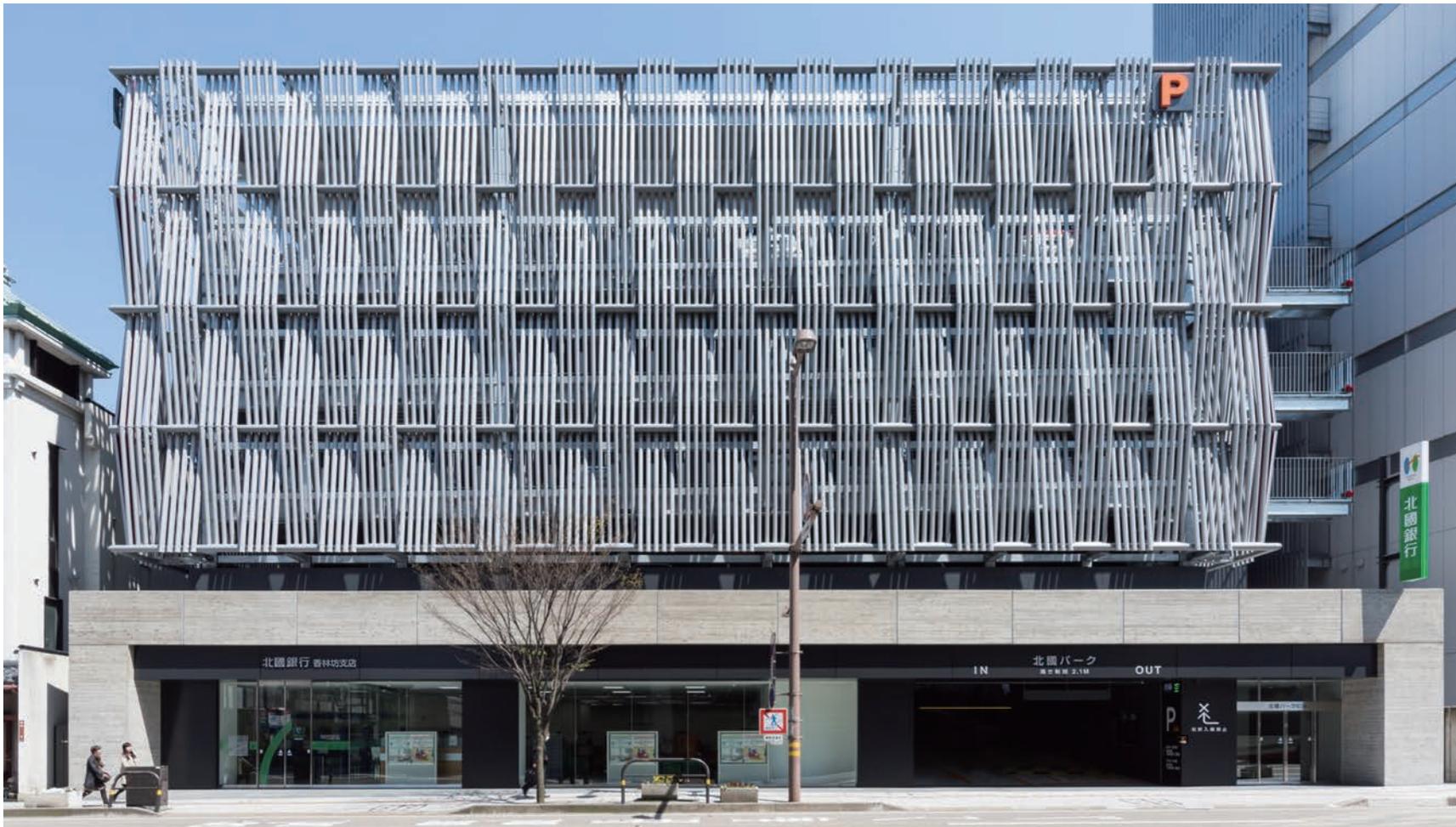
みなと横浜の歴史継承と発注者のビジネスモデルのフレンチテイストを融合させ「横浜フレンチモダン」を施設コンセプトにシーンが展開されている。水際が感じられる周囲の環境も取込みながら、随所にフォトジェニックな場を創り出した。

建築、設備、インテリア、造園、水景、照明、音響、映像、アート、サイン、スタンドグラス、アイアンワーク、パイプオルガン、ファブリック、カリヨン、イルミネーション、ステンシル、フラワー……

多くの関係者の協働によってつくられた劇場型ウェディングが新郎新婦の最高の「記念日」の館となることを願っている。



渡邊 昇



## HOKKOKU PARK BUILDING

北国パークビル

### 歴史を継った外装



加賀百万石の城下町金沢の一番の目抜き通りに建つテナントビル。"百万石通り"の、新しいランドマークとして相応しい存在感のある建物を目指した。

ファサードデザインは、金沢の風土を取り込んだ顔づくりをコンセプトに、加賀の伝統工芸である『加賀水引』をモチーフとした。現代的な材料で伝統を表現するため、アルミルーバーを5本一組にし、編み込んだ千鳥形状にすることで、伝統的な造形美と立体感を表現した。

ルーバー形状は、前田家の家紋をモチーフとし、金沢らしさを表現。ルーバーの型材・取り付部は、日本海側の厳しい冬の雪害に配慮し、丸みを帯びた形状とするなど、様々な工夫を行った。3Dプリンタを積極的に活用することで、アイデアをより直感的に実現した。

夜間のライトアップはルーバーの立体感を活かし、夜の街に賑わいを与え金沢の豊かな景観づくりに寄与している。

第48回 SDA賞入選



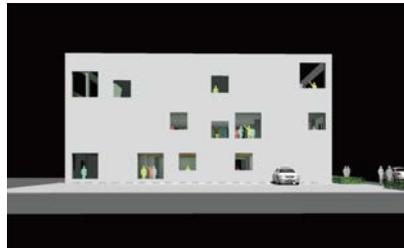
梅澤 力



橘川 雅史

**Elem IWAKI**  
いわき市体験型経済教育施設-Elem

未来への窓



この施設は、東日本震災で被災したいわき市の子どもたちのための教育施設である。カタール政府が被災地復興支援のために設立した「カタールフレンド基金」を活用して建設した。市内の小学5年生と中学2年生全員が教育プログラムの一環として、将来の職業、生活設計を体験する。

企画設計段階では部内コンペを実施し、施主・いわき市・社内の投票により、計画案を選定した。また、基本設計段階では各階のインテリア模型を用い、教育プログラムの円滑な運営を重視して、レイアウトを決めた。コンセプトは、プログラムの特徴でもある将来の自分と向き合うことを踏まえ「未来への窓」とした。ランダムな窓の配置を照明レイアウト、床パターン等にデザイン展開した。子どもたちが、「自分の未来」「自分をとりまく社会」「遠くの誰かとの繋がり」を感じることを期待している。



三角 兼一郎



模擬ブースでの体験学習の様子



提案パース

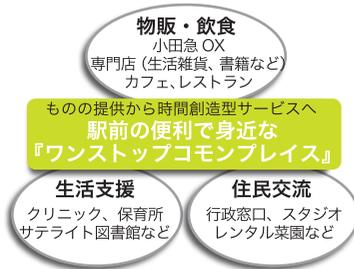


竣工写真

3つのプログラムを提案

**01 インターフェイスとなる駅前施設の提案**

公共的なサービスとのインターフェイスとして機能する駅前施設のあり方を提案。ものの提供だけではなく市民の創造を誘発する『ワンストップコンプレイス』というコンセプトとした。



施設コンセプト

**02 市民にやさしい駅前施設の施設提案**

相武台駅周辺に住むお母さんやシニア世代が新たな価値を創造できる便利でやさしい駅前施設を実現する施設構成を提案した。



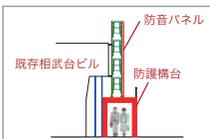
屋上庭園のイメージ



小田急 OX のイメージ



鉄道への配慮



歩行者への配慮

**ODAKYU SOBUDAI BUILDING**  
小田急相武台ビル

3つのプログラムづくり

シミズのプロポーザル

- 施設  
コンセプト
- 施設  
計画
- 施工  
計画

小田急相武台ビルは小田急電鉄様から『2層の物販店舗に自由にプログラムを付加し、魅力ある駅を実現する。』というご要望があった、枠組みの緩やかな自由なコンペだった。急行の止まらない小さな私鉄の駅に“実現でき、かつ魅力を高める”施設の在り方を提案した。

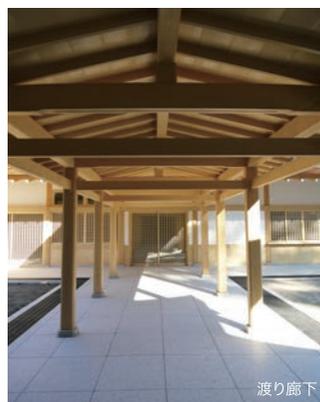
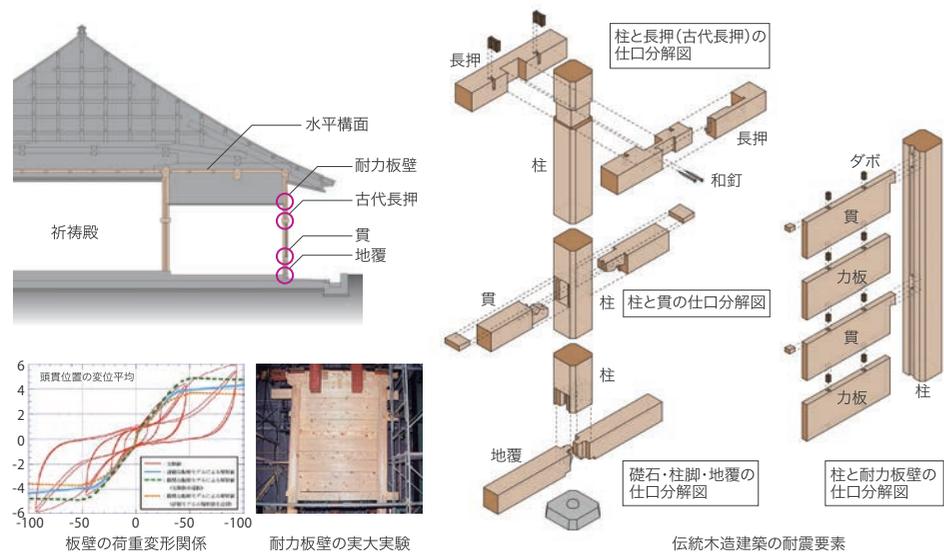
提案プログラムは3つ。1. 公共的なサービスとのインターフェースを駅に持たせる。2. 「働くお母さん」や「元気なシニア世代」が享受できる「時間創造型サービス」。3. 駅を使いながら、商業施設・駐車場を建設する複雑な施工プロセスの確立。その結果、人の動きと建築が立体的に組み合わせられた豊かな表情を持つ施設が実現した。

建築・土木の両輪による実現性の高い提案が評価され、当社が選定された。実現の過程でプログラムの内容は変遷を重ねたが、あたらしい駅の顔が誕生した。これからの街づくりの契機となって欲しいと考える。



大嶋 治雄





祈禱殿



すがるはら 縫破風



渡り廊下



## MUSASHIICHINOMIYA-HIKAWA-Shrine KITOUDEN・FUDASHO

武蔵一宮氷川神社 祈禱殿・札所

力強く優美な屋根



埼玉県大宮の武蔵一宮氷川神社は、初詣には200万人もの参拝客が訪れる全国有数の神社である。

今回計画は、正月の混雑時にも対応できるよう祈禱殿・札所の規模を拡張しての建替工事であり、計画建物は、境内の雰囲気踏襲し、伝統木造構法を採用した。

建物の美しさを決定付ける大切な要素として軒廻りのデザインがある。この建物では、非常に細長い平面形状のため軒の長さが妻面9mに対し正面60mと大きく異なっている。これをいかに破綻なく納めるかが設計のポイントとなった。

真直ぐな長い線は、中央がむくって見えてしまうため、平らな所のない総反りとすることを決め、長く単調にならないよう隅に行くほど勢いのある曲線を目指した。総反り・捻軒・反り出し勾配という最も高度な規矩術を駆使して纏め、境内の既存社殿と調和する優美な外観を表現した。

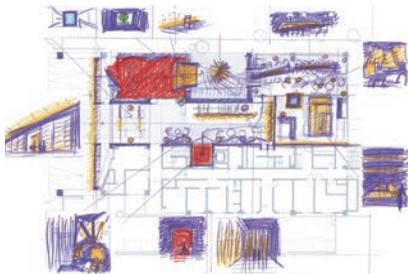
構造的には伝統木造構法の耐震要素を効果的に使用し、耐震性・耐久性に優れた木割りの細い大空間を実現した。



福本 敦子

**SHARELIEF NISHIFUNABASHI GRACENOTE**  
シェアリーフ西船橋グレイスノート

生まれかわるストック建築

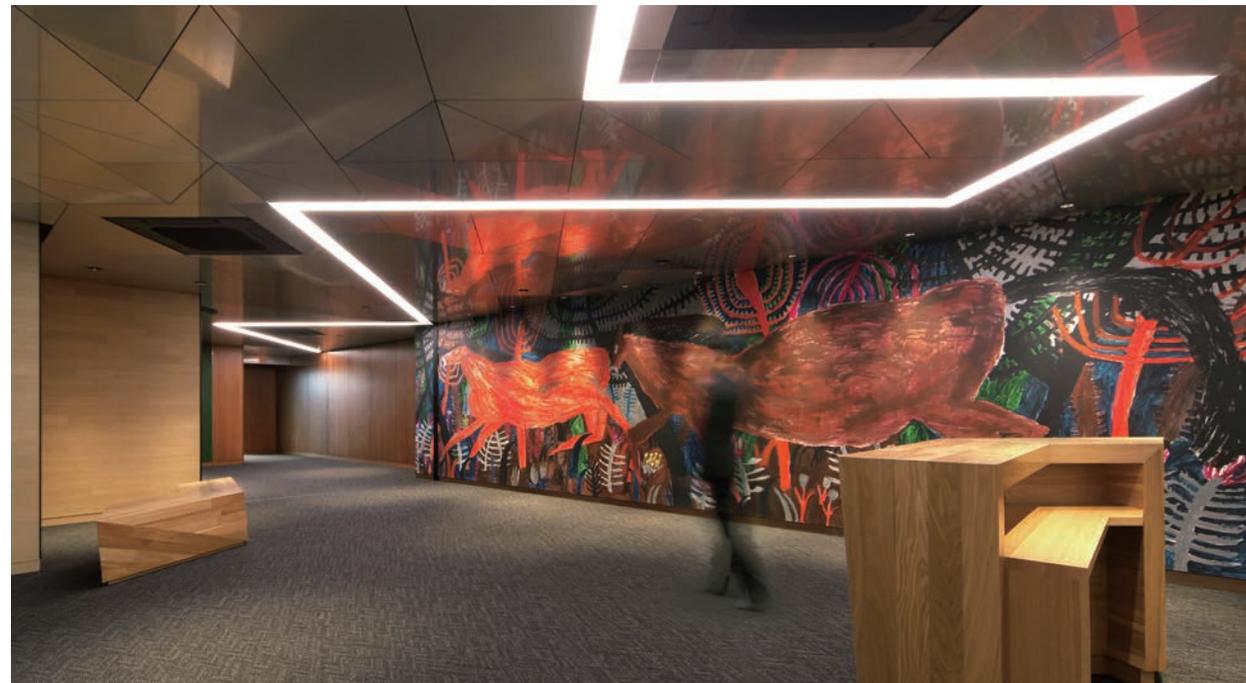


1986年に竣工し、30年近く企業の研修施設として使われた建築を90室もの個室を持つ大規模シェアハウスにコンバージョンした。建築が持っている既存空間の可能性を最大限に活かすことで、共用エリアを豊かなものにし、付加価値を高めた。

既存内装の撤去部分を可能な限り抑え、ベースの空間をモノトーンの仕上げとすることで空間の透明化を図り、デザインのポイントを家具・カーテン・アート・照明等「エモーショナルエレメンツ」に集約することでそれぞれのシーンを個性的にした。

また、自然光が内部まで届きにくい建築空間のため、ライティングコントロールに注力した。建築照明を出来る限りなくし、パーソナルに使える家具に付随した照明を用いることで人のアクティビティと光を近づけた。

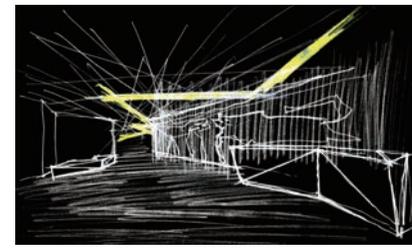
石津 麻衣



**THE IMAMURA SECURITIES CO.,LTD. CONFERENCE ROOM**

今村証券株式会社カンファレンスルーム改修

アートからイメージした森の空間



高さ2.5m幅9.0mの2つのダイナミックなアートとインテリアの融合を意図とした。

施主が当初より望んでいた作家のアートが描かれる事が決まり、そのアートが単体で存在するのではなく、空間全体に世界観が広がるように、アートからイメージした抽象的な森を表現する事を試みた。

天井アルミパネルの幾何形態の反射は木漏れ日を表現し、奥へと伸びるライン照明は自然の中に閃光が走るように来客者を誘導する。

造作家具では清水建設 東京木工場に依頼し森の傍らにあるかのような鉢物を表現したベンチとカウンターを製作した。

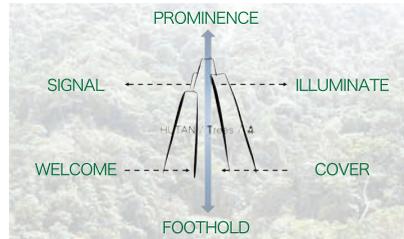
森を抽象化し、自然現象としての効果を幾何形体としてそれぞれの素材で表現することでアートとの融合を図った。

藤井 誠



**MNC MEDIA TOWER PROJECT**  
MNCメディアタワー プロジェクト

Hutan / Trees / 森



インドネシア最大手のメディア企業MNCの最新オフィスと、5-Star HotelのPark Hyattが入居する。

デザインコンサルの計画案が、法的な建物高さ条件の変更に伴い廃案となり、計画見直しとなった。プログラムの見直し・ボリューム検討を1ヵ月で行い、種々のスタディを経て、ファサード計画をオーナーに提案。他3社のデザインコンサルの提案を退け、当社提案が採用された。

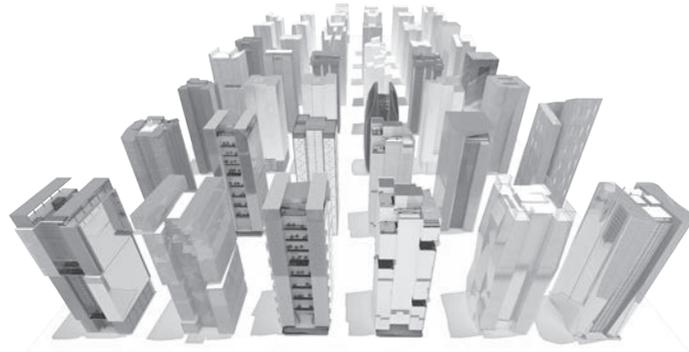
5-Star Hotel・メディア企業としてのエレガントなファサード計画、ジャカルタにおける最新オフィスとしての効率性などが要求されている。

更なる発展が期待されるアジアの都市部にありながら、インドネシア文化が育んできた固有の文化の知恵を随所にちりばめることを主眼としている。

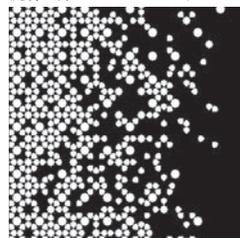


伊藤 伸司

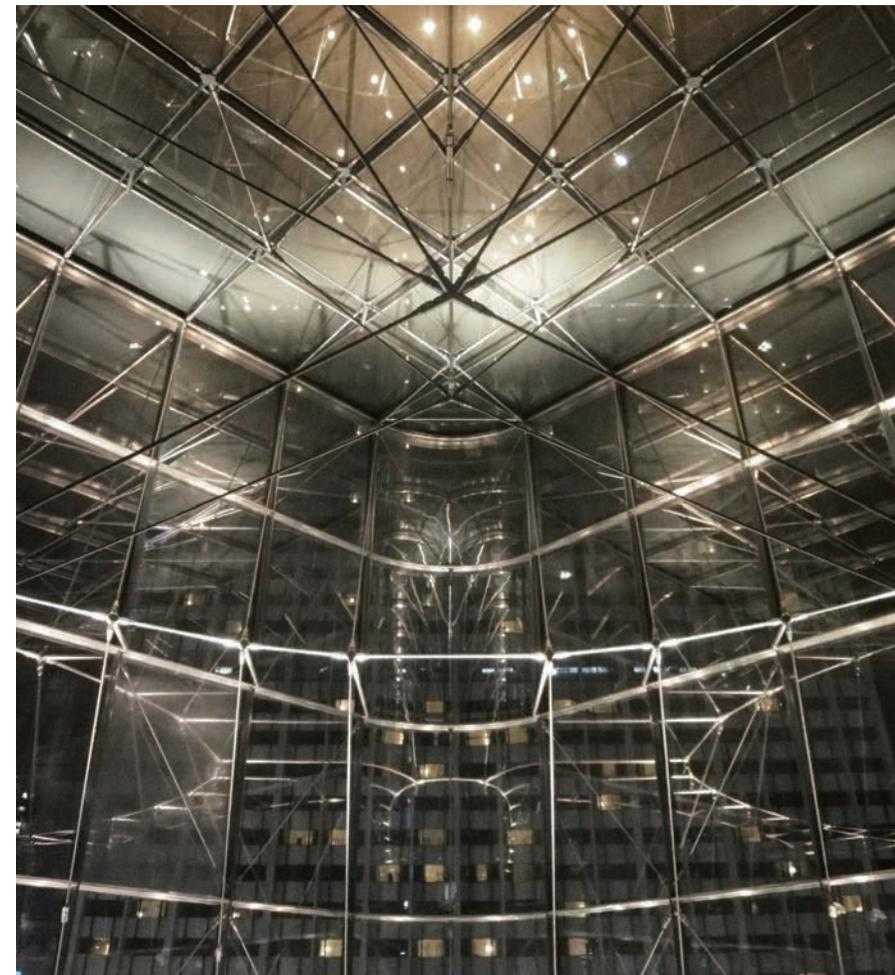
外装デザインスタディ



庇軒天井デザインスタディ



Web会議風景



**268 ORCHARD ROAD**  
268 ORCARD ROAD

物質/力学/透明性



シンガポール最大の繁華街に建つ商業施設。物理的な透明性を極限まで追求した高強度ステンレスの無垢材フレームと高透過ガラスで構成されたガラスボックスの実現に当社の英知が注がれた。

フレーム材は超高压押し出しの変形から一本として同じ形状のものが無く、全結節点でそれぞれに異なる誤差(=隙間)が生じる。その克服にあたっては、3Dスキャナーで全ての材の形状を読み込み、結節点ごとに異なる3次元継手形状を端末上で割り出した上で割り出す必要があった。また、火災時の炎と煙の温度分布による各材の耐力低下を精緻に検証することで、耐火被覆を不要としている。

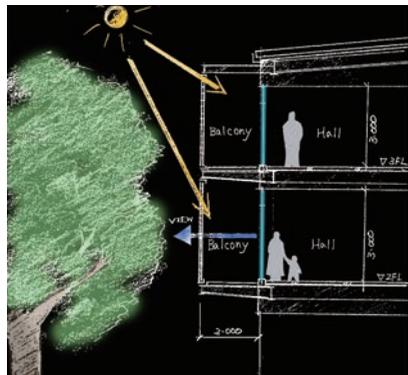
力学的な限界まで削ぎ落とされ、その物質的存在感の極小化が企図されたガラスボックスは、夜間には都市空間を彩る壮大なオブジェにその姿を変える一方、その内部では無限反射する万華鏡の如き幻想的風景を醸成する。



石谷 貴行

### OTA CITY PUBLIC HEALTH CENTER 太田市保健センター

西日を遮蔽し視線を通すブロックスクリーン

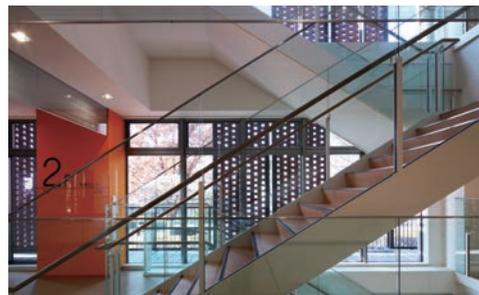
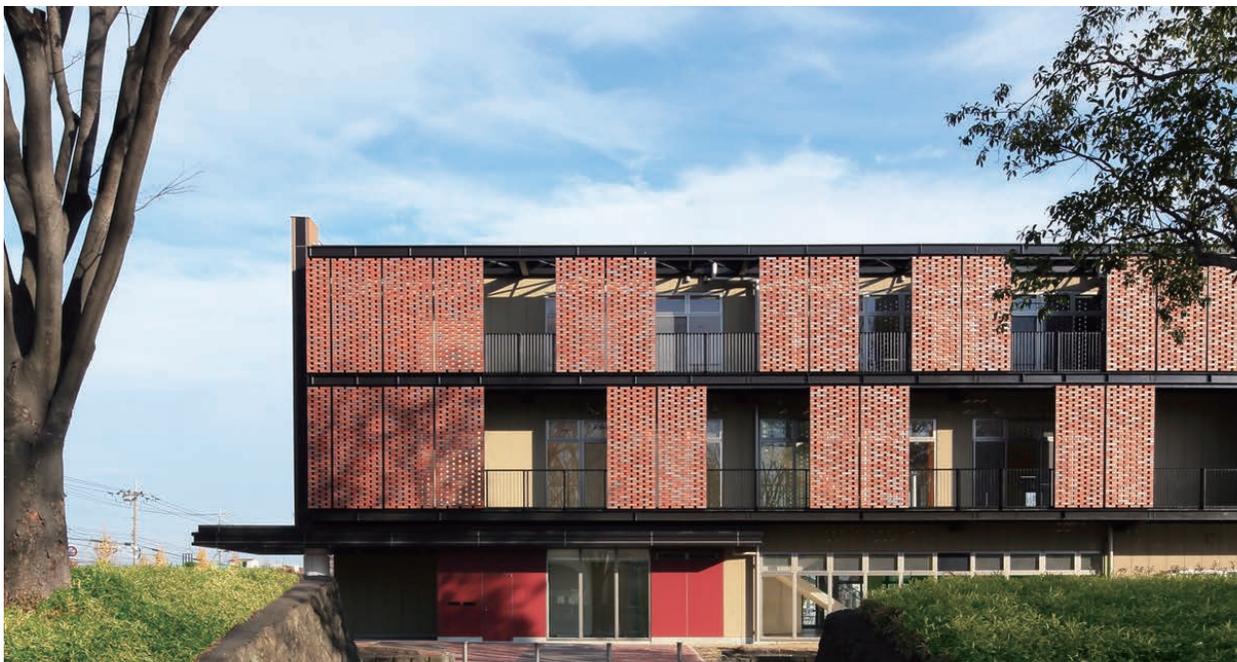


当施設は既存の保健センターの老朽化に伴い、センターの更新と、太田市の「保健」と「医療」の融合を目標に、「保健センター」「平日夜間診療所」「太田市医師会」の複合施設として計画された。

太田市中心部の緑豊かな公園内に立地する当施設は、各階西面にケヤキ並木に沿ったホールを持つ。ホールバルコニーに設置したレンガブロックスクリーンが西日を緩やかに遮り、季節や時間と共に移ろう光によって豊かな表情をみせる。同時に内部の灯りと人の気配を外部へ伝える。

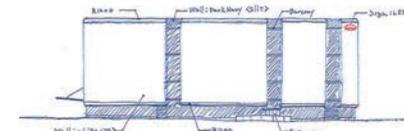
煉瓦ブロックスクリーンのユニット化により、施工性の向上、シンプルなディテールを実現した。

森下 恵里



### KOWA HAMAMATSU FACTORY SITE-5 興和浜松工場 軟膏液剤棟 サイト5

医薬品工場としての機能を内包する外装



自然災害によるリスク分散を図るため、興和医薬事業部の新拠点として建設された医薬品製造工場である。既存建物で見られる曲線形を用いた外装を採用し、かつ、医薬品工場として必要な機能を効率的に組み込むことが求められた。

曲線形を形成した跳ね出し部分はダクトスペースとし、医薬品工場の要であるクリーン環境を維持するための機能空間を効率的に配置した。防虫・気密性向上のため、壁面への窓の設置は極力避けているが、単調な外壁面とならぬよう、ガラリ、バルコニーと集約した縦スリットで分節を図った。

本プロジェクトは施主の他、エンジニアリング、マテハンといった多岐にわたる関係者とのコミュニケーションが必須であった。若手を中心とした設計チームが打合の中心に立ち、粘り強く議論を重ねたことが、良好な関係の構築に繋がり、建物の出来栄に貢献できたのではないかと感じている。

磯和 孝史



## JUNTENDO HOSPITAL BUILDING B 順天堂医院B棟高層棟

未来型の医療建築を目指して



日本の中心地から世界に向けて発信する新病院を実現するべく、「100年建築」「他の範となる未来型病院」「エコロジー建築に関しての先進的な取り組み」の具現化をコンセプトとし計画に着手した。

### 最先端の技術を搭載した病棟 (ecoBCP)

その成果として、①エコホスピタル、②空気感染リスク低減病室、③高層病棟の避難安全システム等、当社技術開発、順天堂大学、早稲田大学との共同研究成果による最先端技術を搭載した未来型の病棟を実現している。

### 最高レベルの環境性能と災害対策

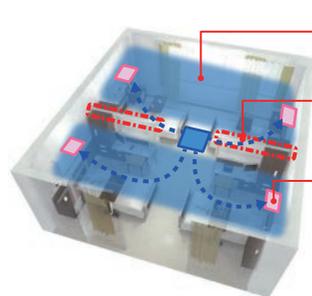
最先端の省エネルギー技術の採用により、CASBEE・Sランク、PAL低減率32%、ERR44%、ZEB補助金の獲得を達成。世界標準の環境評価基準であるLEED-HealthcareのGOLD認証取得を目前としている。また、これらの省エネルギー技術を災害時に有効活用し、実質的な3日間以上の病院機能維持を可能としている。



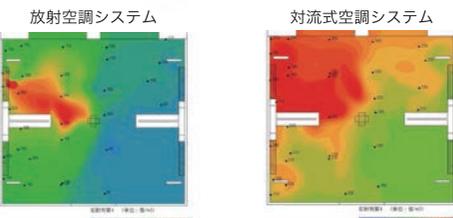
町田 晃一

### 空気感染リスク低減4床病室 感染対策

感染症に対抗する先進的施設仕様の具現化



- 放射空調**  
空気を“かき混ぜない”ことによる空気中の汚染物質の拡散防止
- 間仕切り家具**  
空気中の汚染物質の拡散防止  
プライバシーの確保
- 一方流の換気**  
給排気口の最適配置



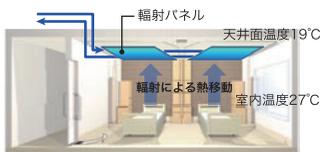
汚染物質の拡散比較

### エコホスピタル (省エネルギー病室) 快適性+省エネ性

病室における快適性と省エネルギー性の両立

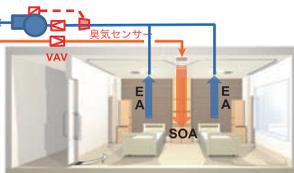
#### ①放射空調システム

放射パネルによるドラフト感のない快適性と搬送動力削減による省エネルギー。



#### ②省エネルギー換気システム

臭気センサーによる病室の臭気発生状況に応じた適正な換気量削減。



#### ③LEDパーソナル照明

ベッドサイドのパーソナル照明によるアメニティの向上と消費電力の削減。



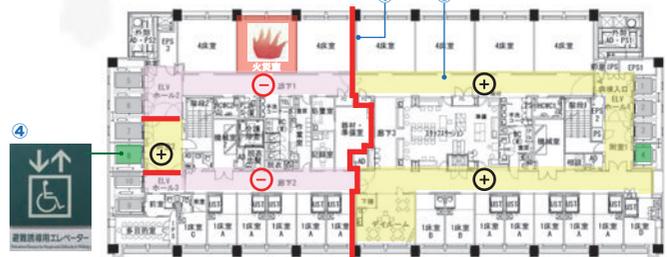
ベッド毎にパーソナル照明設置

- ・LEDブラケット照明で全般照明と読書灯を兼用
- ・ベッド不在時は個別消灯が可能
- ・ブラケット照明と天井マルチライクの組合せによる快適視環境の提供
- ・壁面間接照明による廊下側ベッドの明るさ環境の改善

### 高層病棟の避難安全システム 安全性

#### 高層病棟における火災時の安全性確保

- 中央の水平防火区画**  
階全体への火災拡大防止
- 火災フェーズシステム**  
火災の早期発見、早期確定による避難時間の短縮
- 加圧防排煙システム**  
非火災エリアの安全性向上 (東西の陽陰圧切替可能)
- 非常用ELVの避難利用**  
東京消防庁認定 第1号案件



避難安全システム平面図



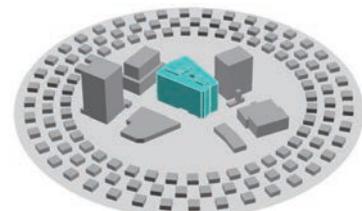
4床病室

### 横浜アイマークプレイス

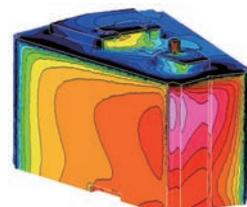
▶P.20-21

#### ecoBCPオフィスを支える通風・採光計画

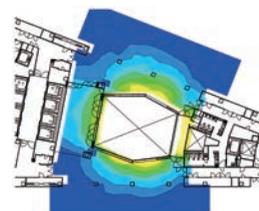
建物中央のポイドと外周の窓開口による、自然換気と自然採光の効果を評価。意匠性と環境性能を備えたポイドと開口の計画を行った。



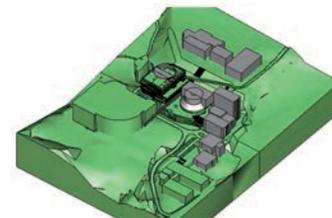
街区の気流解析モデル



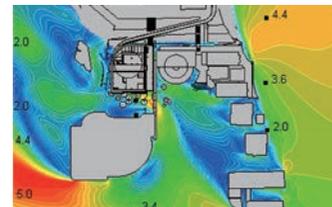
外壁面の風圧



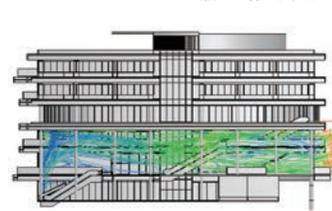
ポイドの自然採光による照度分布



BIM連携による気流解析モデル



敷地全体の風速分布



キャンパス・ガレリアの気流の軌跡

### 安田女子大学新5号館

▶P.02-05

#### 学生通路に呼び込む風

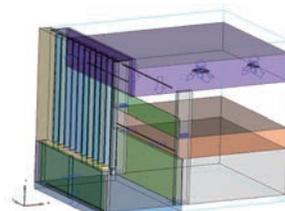
BIMデータ連携で敷地全体の解析モデルを作成し、キャンパス・ガレリアの自然通風と屋内吹抜け空間の温熱環境を評価。十分な通風性能があることを確認した。

### カリモク家具 本社ビル

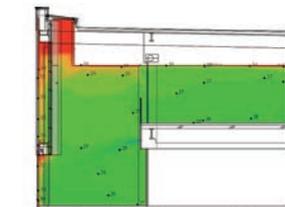
▶P.14-15

#### 木製ルーバーによる西日対策

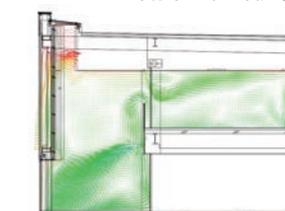
2層吹抜けの打合せコーナーと2階事務室の空調方式計画のために、温度・気流分布を検討。意匠性も備えた木製ルーバーが西日対策にも効果を発揮した。



室内温熱環境解析モデル



冷房時の室内温度分布



冷房時の室内気流分布

## ENVIRONMENT AND EQUIPMENT SIMULATION

環境・設備シミュレーション

コンピュータ内に建築の営みを再現

	建築環境評価	エネルギー
敷地全体	屋外環境 屋外熱環境	太陽光 風力 地中熱
建物全体	自然通風 自然採光	断熱性能 日射遮蔽性能
室内空間	温熱環境 光環境 磁気環境	空調エネルギー 照明エネルギー

環境・設備シミュレーションは、半導体工場から個人住宅に亘るさまざまな設計案件において「良くわからない」環境性能を「見える化」することで、設計上の問題解決と関係者間の合意形成に役立っている。

シミュレーションの秘訣は、物理現象に立ち帰って紐解くこと。目標は、コンピュータ内に建築の営みを再現すること。形、色、テクスチャーに加えて、光の変化、風の流れ、温度のばらつき、設備の動き、物質の移動、エネルギーの流れ、人の感覚、等々。

それができた時、オーナー、ユーザー、設計者、施工者、関係者の中で真の価値観の共有が生まれると思う。



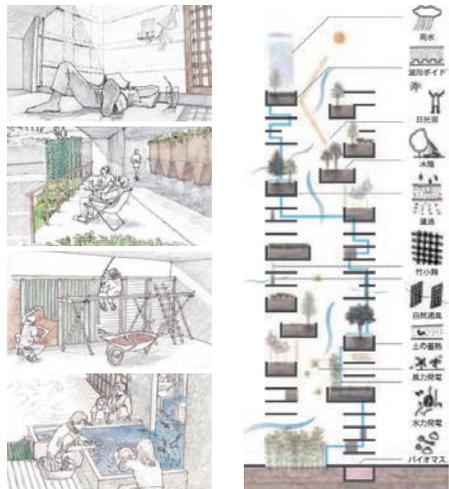
矢川 明弘

## COMPETITION

2013年度第27回建築環境デザインコンペティション：最優秀賞  
「寝みかへーみんなで分かち合い、つくり続ける設備ー」

課題は「設備を可視化した建築」。  
都心でさえ空室が増加している。我々は、昨今人気のタワーマンションでさえ近い将来は例外ではないと考え、減築しリノベーションを行うことを提案した。  
空室の壁をとりはらい土を入れ木を植え、光や風が通り抜ける半外部空間へと更新する。この空間は周辺住民へも開放され、垂直方向に孤立した存在であったタワーマンションが、徐々に街に開かれた場所へと変化していく。その場で育てた自然素材などを使い、住民自らの手で土壁や建具などをつくり、機械設備に頼らないパッシブなシステムの住宅へと改築していくプロセス/行為そのものを、「設備の可視化」として提示した。

大橋 一智 宮崎 俊亮 佐野 穂高 岡崎 真也  
中野 舞 伊藤 統 渡辺 高史



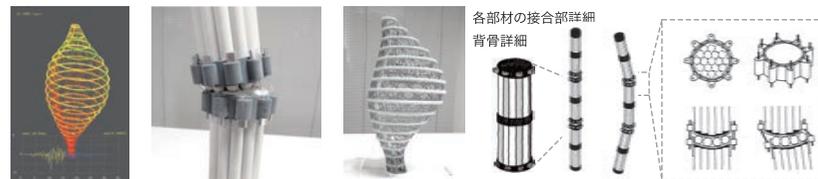
## COMPETITION

2014年度日本建築学会技術部門設計競技：優秀賞  
「躯体可変ー変化を受け入れる HUMANOID STRUCTUREー」

2014年度の課題は「自然物の優れた力学的特性を取り入れた新たな構造デザイン」  
構造力学に主眼を置きながら、周辺環境との調和、多様性、再生回復能力などの付加価値を自然から取り入れた、新たなデザインが求められた。  
ヒトのからだをモチーフとし、建物を取り巻く環境の変化にあわせて建物自身が変化し続ける、「躯体可変モデル」を提案した。  
背骨、関節、肋骨、筋肉のユニットを組み合わせ、可変性、多様性、そして力学的合理性をもった一本柱・非対称形状のモデルを構築。変化・更新を続けることで、建物は無限の多様性を獲得し、永く使い続けることが可能となる。

安達 一喜 稲垣 啓輔 稲葉 秀星 佐藤 彰  
竹内 信一郎 南部 紘 吉田 伊織  
西野 安香 水口 朝博

## 躯体可変



「ヒト」の構造に着目する

偏心を許容する 背骨のS字カーブ

形態を保つ りっ骨

自由度を高める 関節

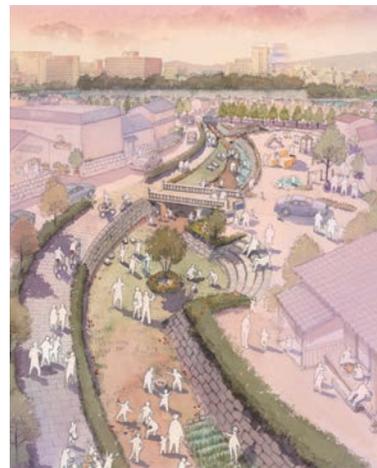
集合体による 筋肉のしくみ

## COMPETITION

第16回 2013年 まちの活性化・都市デザイン競技  
「わらんべ小径」都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

地元自治体からの要請により、実現に寄与することを目的として行われる都市デザイン競技。本競技では福井市のシンボル「福井城址」周辺の魅力を高める都市デザインの創出が求められた。  
「わらんべ小径」は、既存市街地で子どもが安全に遊べる「道」を再生し、リアルな体験ができる遊び場を提供するもの。  
本提案では、まちの活性化という課題に対し、子どもの成長環境を見直すという回答を示し、「おとなの視点」から「こどもの視点」へと「視点の変換」を行うことにより都市環境を考える、まちづくりの新しい形を模索した。

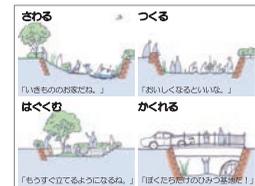
宮前 和也 岩井 正道



「わらんべ小径」のイメージ



リアルな体験ができる遊び場



「わらんべ小径」×子ども



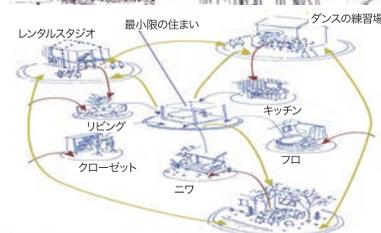
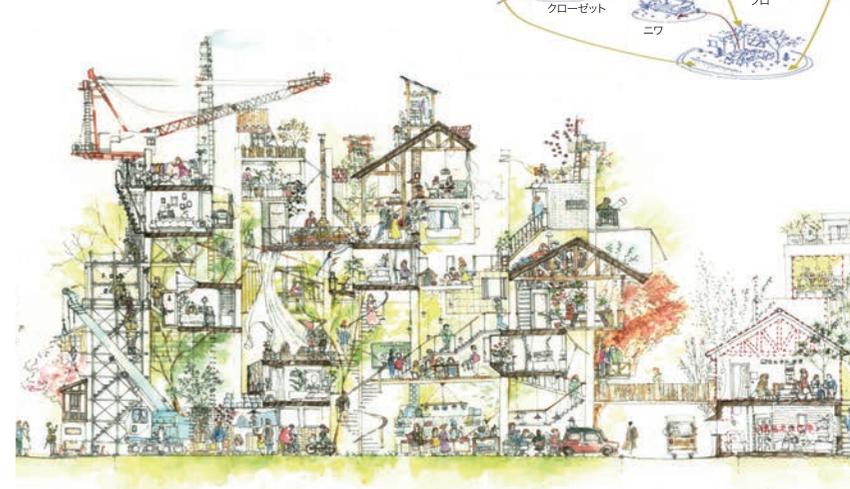
配置図

## COMPETITION

2013年度第2回大東建託賃貸住宅コンペ：  
「賃貸都市ー2つの賃貸手法ー」 最優秀賞

2013年度の大東建託主催のコンペ。  
賃貸としての建築的な面、制度的な面などのさまざまな切り口からこれまでの既成概念にとらわれない新たな賃貸住宅の設計提案が求められた。  
提案は容積転換を行い、既存住宅の不要になった部屋単位での売買を行い、増築と改築を繰返し、人々の住環境の変化に対応する流動的な都市を提案した。  
都市と賃貸を融解する事で狭い賃貸という枠を超え都市に住まう方法を模索した。

加藤 直樹



**stream DEW WORKS**

stream DEW委員会では、メンバーの自由かつ主体的な提案によりワークショップ、建築の視察、展示会やドキュメントの作成など様々な活動を行っている。

**2010年度 ツリーハウスワークショップ**

stream DEW・清水建設北海道支店・北海道大学の産学協働プロジェクトとして、企画・設計・建設を一貫して行うワークショップを実施した。北海道大学構内や札幌芸術の森に、学生や一般参加の子どもたちと共にツリーハウスを製作した。



**2011年度 清水建設建築作品展「stream DEW 2011」**

当社東京木工場にて建築作品展「stream DEW」を開催した。当社が携わってきた建物に関する展示に加え、設計者による建築作品説明会、社内設計コンペの公開2次審査、東京木工場見学ツアーも行われた。



**2012年度 コンテナ展「東京万華鏡」**

東京デザイナーズウィークのコンテナ展に出展した。東京という都市を無限に広がる万華鏡の手法を用いて表現。その中にこれまで清水建設が生み出した建築が、人々の生活に溶け込み、どのようなワンシーンを描いているのかを示す写真を展示した。

2013年 DSA 空間デザイン優秀賞



**2013年度 清水建設建築作品展「ものづくりの風景」**

清水組設計部出身の銀行建築の大家、西村好時設計による、旧第一銀行横浜支店(現YCC 横浜創造センター)にて現在・過去・未来を軸とした建築作品展を開催した。会期中には、「環境建築のトップランナーを目指して」をテーマに、近作の紹介+トークセッションを行った。



**2014年度 活動テーマ「DIG!!ここ掘れ!!」**

日々の仕事のなかでは、すぐそばにあるのに気付かない、見えてない、アイデアの欠片がたくさん転がっているはず。今ある自分たちの環境を、視点を変えて掘り起し、見える環境をつくることで、気づきの連鎖を促し、アイデアのつながりやすい場づくりを試みる。



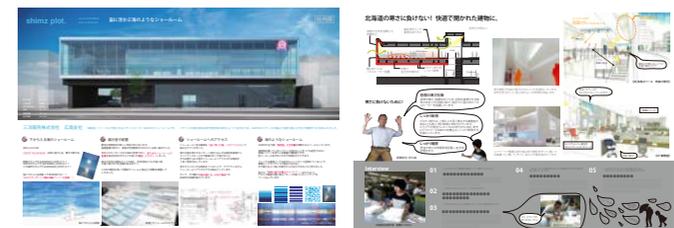
**「DEW通信」**

全国設計・プロポーザル系 各部署にスポットを当て、部内アイデアコンペなど独自の活動を紹介する。



**「shimz plot」**

設計プロセス・設計者に着目したプロジェクト紹介。設計者の悩み・発見を「現在進行形」で伝える。



**「shimz vintage」**

当社設計施工案件の作品紹介。DEWメンバーが建物を見学し、自らの言葉・スケッチで分析する。



- 委員長 梶谷 正和  
副委員長 古株 友徳  
委員 赤澤 知也  
池田 賢介  
生駒 和也  
猪股 悠  
梅澤 力  
大森 奈津子  
香月 孝一  
黒瀬 恭介  
後藤 なつみ  
佐藤 慎平  
清水 壮輔  
新屋 江里子  
田邊 美弥  
津曲 敬  
棚木 繭子  
西川 裕子  
西田 桂子  
福島 彩  
圓山 雄太郎  
水田 博夫  
南川 大輔  
森川 史織  
山崎 ひとみ  
事務局 吉田 郁夫

stream 2014  
**DEW**

**stream DEW**

「潮流=ストリーム(stream)の源流は雫(DEW)にある」。「個人の創造性発露が社員相互の啓発・情報共有の源であり、それが大きな流れとなる」という意味をこめて、2007年に命名。



**安田女子大学新5号館** \*2,3

建築主：学校法人安田学園  
 主要用途：大学  
 敷地面積：122,536.88㎡  
 建築面積：3,067.91㎡  
 延床面積：12,024.15㎡  
 構造：S造・CF造  
 規模：地上6階・塔屋1階  
 竣工年：2014年  
 所在地：広島県広島市安佐南区安東6-13-1



**カツヤマキカイ本社棟** \*2,3

建築主：カツヤマキカイ株式会社  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：3,921.64㎡  
 建築面積：1,578.33㎡  
 延床面積：2,559.62㎡  
 構造：S造  
 規模：地上7階・地下1階  
 竣工年：2013年  
 所在地：兵庫県神戸市中央区神戸空港3-12



**ナガセグローバル人財開発センター**

建築主：長瀬産業株式会社  
 主要用途：研修所・共同住宅  
 敷地面積：1,169.81㎡  
 建築面積：751.13㎡  
 延床面積：3,617.12㎡  
 構造：RC造  
 規模：地上7階・地下1階  
 竣工年：2014年  
 所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-13



**ウエリス有栖川** \*2

建築主：NTT都市開発株式会社  
 主要用途：集合住宅  
 敷地面積：2,866.73㎡  
 建築面積：1,970.11㎡  
 延床面積：9,270.07㎡  
 構造：RC造+一部S造(基礎免震)  
 規模：地上5階・地下1階・塔屋1階  
 竣工年：2013年  
 所在地：東京都港区南麻布5丁目



**小田急相武台ビル**

建築主：小田急電鉄株式会社  
 主要用途：商業施設  
 敷地面積：5,647.03㎡  
 建築面積：2,175.49㎡  
 延床面積：7,919.42㎡  
 構造：S造  
 規模：地上5階・地下1階  
 竣工年：2013年  
 所在地：神奈川県座間市相武台1丁目



**268 ORCHARD ROAD** \*1

建築主：RE Properties Pte Ltd  
 主要用途：商業施設  
 敷地面積：2,875㎡  
 建築面積：2,490㎡  
 延床面積：16,971㎡  
 構造：RC造  
 規模：地上12階・地下1階  
 竣工年：2014年  
 所在地：268 Orchard Rd Singapore 238856



**ぬり彦ビル南館**

建築主：株式会社ぬり彦  
 主要用途：事務所・店舗  
 敷地面積：758.70㎡  
 建築面積：683.85㎡  
 延床面積：6,627.85㎡  
 構造：S造+一部SRC造 免震構造  
 規模：地上9階・地下1階・塔屋1階  
 竣工年：2014年  
 所在地：東京都中央区京橋2-10-2



**横浜アイマークプレイス** \*1

建築主：清水建設株式会社  
 主要用途：事務所・店舗  
 敷地面積：11,484.67㎡  
 建築面積：7,487.48㎡  
 延床面積：97,248.02㎡  
 構造：S造+免震構造  
 規模：地上14階・塔屋2階  
 竣工年：2014年  
 所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5



**コニカミルタパークアスリーツ** \*1,3

建築主：コニカミルタ株式会社  
 主要用途：寄宿舎  
 敷地面積：1,770.49㎡  
 建築面積：947.25㎡  
 延床面積：1,549.26㎡  
 構造：壁式RC造  
 規模：地上2階  
 竣工年：2013年  
 所在地：東京都日野市多摩平5-10-1



**パークタワー東雲**

建築主：三井不動産レジデンシャル株式会社  
 主要用途：共同住宅  
 敷地面積：7,541.44㎡  
 建築面積：3,440.56㎡  
 延床面積：61,418.04㎡  
 構造：RC造+一部S造(免震構造)・現場造成杭  
 規模：地上43階・塔屋1階  
 竣工年：2014年  
 所在地：東京都東区東雲1-1-6



**武蔵一宮氷川神社 祈禱殿・礼所**

建築主：武蔵一宮氷川神社  
 主要用途：神社  
 敷地面積：47,937.96㎡  
 建築面積：871.83㎡  
 延床面積：690.12㎡  
 構造：木造  
 規模：平屋建  
 竣工年：2013年  
 所在地：埼玉県さいたま市大宮区高鼻町1-407



**太田市保健センター**

建築主：太田市役所  
 主要用途：保健センター  
 敷地面積：8,194.69㎡  
 建築面積：1,237.08㎡  
 延床面積：3,087.52㎡  
 構造：S造  
 規模：地上3階  
 竣工年：2013年  
 所在地：群馬県太田市飯田町818-819(一部)



**オア-ゼ芝浦**

	MJビル	NEXUS	RESIDENCE
主要用途	事務所	事務所	賃貸集合住宅
敷地面積	2,867.03㎡	558.91㎡	1,233.13㎡
建築面積	2,207.88㎡	388.35㎡	6,155.46㎡
延床面積	3,060.08㎡	2,182.11㎡	6,155.46㎡
構造	RC造・S造	S造	RC造
規模	地上7階・地下2階	地上6階	地上14階
竣工年	2014年		

所在地：東京都港区芝浦2-15-6



**大崎ウイズシティ** \*1

建築主：大崎駅西口南地区市街地再開発組合  
 主要用途：事務所・共同住宅・店舗・福祉施設  
 敷地面積：7,171.46㎡  
 建築面積：3,691.51㎡  
 延床面積：58,411.59㎡  
 構造：事務所棟：S造・住宅棟：RC造  
 規模：地上24階・地下2階  
 竣工年：2014年  
 所在地：東京都品川区大崎2-11-1



**慶應義塾大学(矢上)理工学部教育研究棟(34棟)** \*2

建築主：慶應義塾  
 主要用途：大学  
 敷地面積：78,373.07㎡  
 建築面積：2,654.47㎡  
 延床面積：15,451.82㎡  
 構造：SRC造+一部S造  
 規模：地上4階  
 竣工年：2014年  
 所在地：神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1



**アニヴェルセルみなとみらい横浜** \*2,3

建築主：株式会社AOKIホールディングス  
 主要用途：結婚会場  
 敷地面積：17,718.33㎡  
 建築面積：7,005.79㎡  
 延床面積：15,451.82㎡  
 構造：S造(住CF造)  
 規模：地上5階  
 竣工年：2013年  
 所在地：神奈川県横浜市中区新港2-1-3



**シェアリーブシ船橋グレイスノート** \*1,2

建築主：日本土地建物株式会社  
 主要用途：シェアハウス  
 敷地面積：1,998㎡  
 建築面積：1,189㎡  
 延床面積：3,727㎡  
 構造：RC造  
 規模：地上5階・地下1階  
 竣工年：2014年  
 所在地：千葉県船橋市本郷町551-2



**興和浜松工場 軟膏液剤棟 サイト5** \*1

建築主：興和株式会社  
 主要用途：工場  
 敷地面積：69,440.77㎡  
 建築面積：5,643.39㎡  
 延床面積：21,890.65㎡  
 構造：S造  
 規模：地上5階  
 竣工年：2013年  
 所在地：静岡県浜松市北区新都田1-3-1



**カリモク家具 本社ビル**

建築主：カリモク家具株式会社  
 主要用途：本社・試作工場  
 敷地面積：65,324.47㎡  
 建築面積：4,012.66㎡  
 延床面積：4,906.93㎡  
 構造：S造  
 規模：地上2階  
 竣工年：2013年  
 所在地：愛知県知多郡東浦町大字藤江字皆栄町108



**友電電気本社ビル**

建築主：友電電気株式会社  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：553.28㎡  
 建築面積：4,121.59㎡  
 延床面積：1,011.69㎡  
 構造：S造  
 規模：地上2階  
 竣工年：2013年  
 所在地：埼玉県戸田市新曾318-1他



**佐賀女子高等学校** \*2

建築主：学校法人旭学園  
 主要用途：高等学校  
 敷地面積：20,731.05㎡  
 建築面積：4,121.59㎡  
 延床面積：9,665.35㎡  
 構造：RC造+一部S造  
 規模：地上4階  
 竣工年：2013年  
 所在地：佐賀県佐賀市本庄町本庄1263



**北園パークビル**

建築主：株式会社北園新聞社  
 主要用途：立体駐車場・銀行店舗  
 敷地面積：1,210.40㎡  
 建築面積：1,014.10㎡  
 延床面積：4,017.33㎡  
 構造：S造  
 規模：地上5階  
 竣工年：2013年  
 所在地：石川県金沢市南町6-15



**今村証券 カンパレンスルーム改修** \*2

建築主：今村証券株式会社  
 主要用途：会議室待合ロビー  
 改修面積：275㎡(2階)  
 構造：SRC造  
 規模：地上10階  
 竣工年：2014年  
 所在地：石川県金沢市十間町25



**順天堂医院B棟高層棟** \*1,2

建築主：学校法人順天堂  
 主要用途：病院  
 敷地面積：5,156.48㎡  
 建築面積：2,864.06㎡  
 延床面積：45,217.13㎡  
 構造：Hy-ECOSS 免震構造  
 規模：地上21階・地下3階  
 竣工年：2016年(予定)  
 所在地：東京都文京区本郷2-1-1



**荏原製作所袖ヶ浦事業所 事務・厚生棟**

建築主：株式会社荏原製作所  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：165,658.00㎡  
 建築面積：2,034.88㎡  
 延床面積：5,909.06㎡  
 構造：S造  
 規模：地上3階・塔屋1階  
 竣工年：2014年  
 所在地：千葉県袖ヶ浦市中袖20-1



**田辺三菱製薬 加島オフィス棟** \*2

建築主：田辺三菱製薬株式会社  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：94,723.61㎡  
 建築面積：2,604.31㎡  
 延床面積：8,478.80㎡  
 構造：S造  
 規模：地上4階  
 竣工年：2014年  
 所在地：大阪府大阪市淀川区加島3-16-89



**北海道工業大学 "HIT ARENA"** \*1

建築主：学校法人北海道尚志学園  
 主要用途：大学(体育館)  
 敷地面積：130,195.41㎡  
 建築面積：3,728.90㎡  
 延床面積：5,900.61㎡  
 構造：RC造+一部SRC造+S造  
 規模：地上3階・塔屋1階  
 竣工年：2012年  
 所在地：北海道札幌市手稲区前田7条15-4-1



**いわき市体験型経済教育施設-Elem**

建築主：公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本  
 主要用途：教育施設  
 敷地面積：1,010.47㎡  
 建築面積：438.79㎡  
 延床面積：1,374.39㎡  
 構造：S造  
 規模：地上3階  
 竣工年：2014年  
 所在地：福島県いわき市平字堂根町2-14



**MNCメディアタワープロジェクト** \*1,2

建築主：PT MNC LAND Tbk.  
 主要用途：事務所・ホテル  
 敷地面積：7,391㎡  
 建築面積：2,543㎡  
 延床面積：102,200㎡  
 構造：RC造  
 規模：地上37階・地下5階  
 竣工年：2017年(予定)  
 所在地：JL Kebon Sirih, No.17-19, Jakarta, 10340

\*1 他社協働(設計:清水建設)

- 大崎ウイズシティ  
株式会社協立建築設計事務所
- コニカミノルタ パークアスリーツ  
コニカミノルタエンジニアリング株式会社  
エモーショナル・スペース・デザイン
- 横浜アイマークブレイス  
株式会社ランドスケープ・プラス  
株式会社ワークテクト  
株式会社堀木エリチ&アソシエイツ
- 北海道工業大学"HIT ARENA"  
佐藤孝 + 北海道工業大学新体育館プロジェクト設計 JV
- シェアリーフ西船橋グレイスノート  
日本土地建物株式会社 伊藤秀明+小嶋秀隆  
ライティングM 森秀人+加賀美鏡
- MNC メディアタワープロジェクト  
Hotel Interior Design: CONRAN & PARTNERS
- 268 ORCHARD ROAD  
建築設計: Raymond Woo & Associates Architects  
構造設計: Chong & Lee Consultants Pte Ltd  
設備設計: BESCON Consulting Engineers Pte  
PTA Consultants Pte Ltd
- ファサード企画設計: Hugh Dutton Associé's  
照明設計: Lighting Planners Associates Pte Ltd
- 興和浜松工場 軟膏液剤棟 サイト5  
設計監修: 株式会社プランテック総合計画事務所
- 順天堂医院B棟高層棟  
プロジェクト・アーキテクト・基本設計・工事監理: 日本設計  
アドバイザー: 椎名政夫建築設計事務所・青島裕之建築設計室

\*2 インテリアデザイン:フィールドフォー・デザインオフィス

\*3 ランドスケープデザイン:フィールドフォー・デザインオフィス

全国設計・プロポーザル系組織図 (2014.12月現在)



発行日 2014年12月  
 編集・発行 清水建設株式会社  
 /設計・プロポーザル統括  
 〒104-8370 中央区京橋2-16-1  
 03-3561-1111(代)  
 編集事務局 設計・プロポーザル統括  
 企画管理部  
 印刷所 (株)ピーディーシステム  
 年1回発行予定

非売品